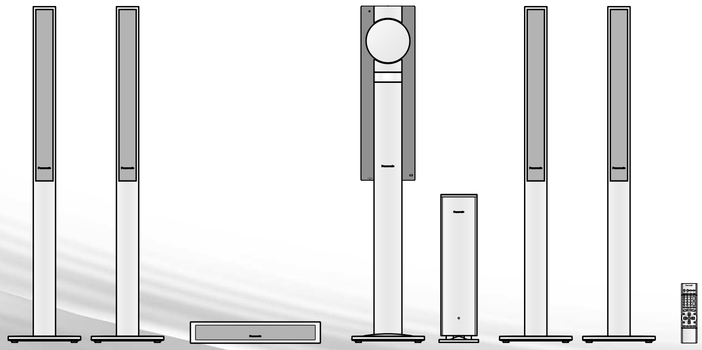
Panasonic



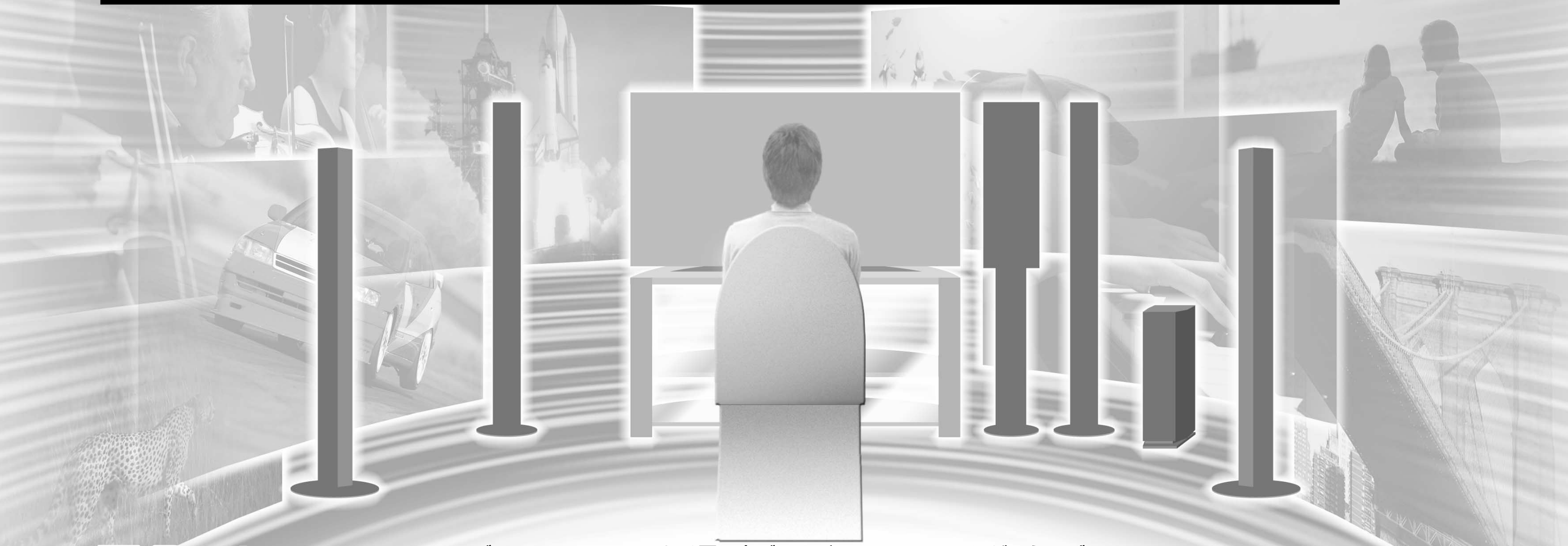
操作編

DVD システム

取扱説明書

品番　SC-ST1

操作の前に、別冊の設置接続編をよくお読みのうえ、設置と接続を行ってください。



このたびは、DVD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT6706-S

一枚のディスクから広がる夢の空間…
パナソニックの DVD システムが、そのお手伝いをします。



もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

（注意喚起）	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
（禁止）	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
（強制）	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

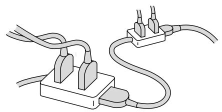
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

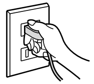
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときはプラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



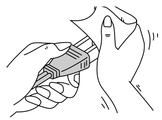
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない



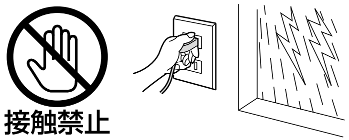
分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠ 警告

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

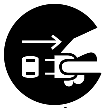


接触禁止

● 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

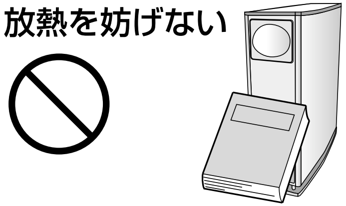
● **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
● **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

● そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
● 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

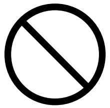
設置・接続について

放熱を妨げない



● 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

不安定な場所に設置しない



● **上に大きなもの、重いものを載せない**

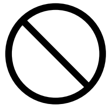
● 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

スピーカーは付属のものを接続する



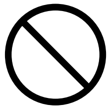
● 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



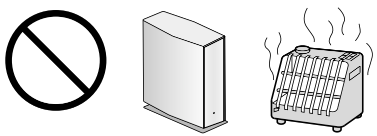
● 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



● 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
● 設置・工事は販売店にご相談ください。

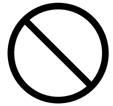
異常に温度が高くなるところに置かない



● 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口の奥に手を入れない

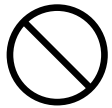


指に注意

● 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



● 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
● また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

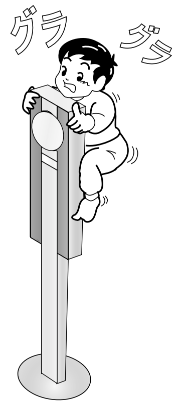
安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

ご使用について

設置接続編に記載の転倒防止対策は必ず行う

機器に乗ったり、ぶらさがったり、もたれたりしない



- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許 No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の登録商標です。著作権 1996 年、2000 年 DTS 社。不許複製。

MPEG Layer-3 audio decoding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson multimedia.

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA（Windows Media™ Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

Designed for Windows Media™

DVD ビデオのリージョン番号について

発売地域ごとに、DVD ビデオのソフトと再生可能機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。
（本機のリージョン番号は**「2」**です。）

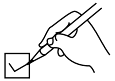
本機は、

「2」　「ALL」　「2」を含むもの

2　ALL　例 1 2 4

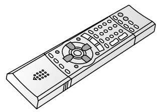
が表示された DVD ビデオを再生できます。

付属品の確認

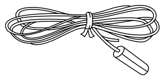


付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ（　）内は、買い替えの品番です。
（スピーカーコードとスピーカー用クランパーの買い替え品は、1 セットではなく単品販売となります。）

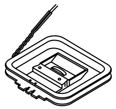
□ リモコン（1 個）
（EUR7622020）



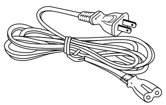
□ FM 簡易型アンテナ（1 本）
（RSA0007）



□ AM ループアンテナ（1 本）
（N1DAAAA00001）

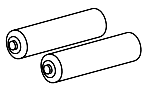


□ 電源コード（1 本）
（RJA0012-K）

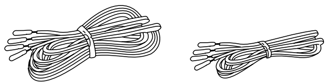


お願い
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

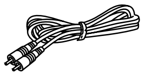
□ リモコン用単 3 形乾電池
（2 本）



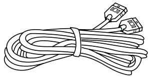
□ スピーカーコード
（1 セット：5 本）
（10 m：2 本）（REE1203C）
（4 m：3 本）（REE1203A）



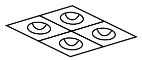
□ 映像コード（4 m：1 本）
（K2KA2HA00003）



□ システムケーブル（1 本）
（K1HA25JA0002）



□ センタースピーカー用ゴム足
（1 シート：4 個）
（RFA0631A-K）



□ スピーカー組み立て用ネジ
（8 個）
（XSN5 ＋ 16FN）



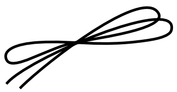
□ スピーカー用クランパー（4 個）
（QWBG002AA）



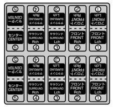
□ クランパー取り付け用ネジ
（4 個）
（XTB3 ＋ 10JFZ）



□ 本体転倒防止用ヒモ
（1 m：1 本）
（RMF0321）

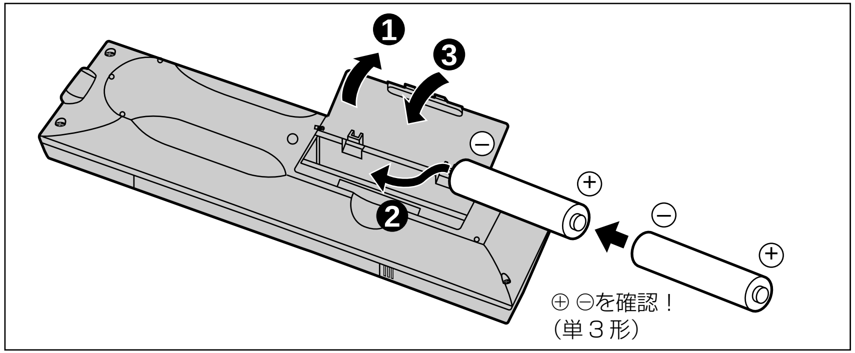


□ スピーカーラベル
（1 枚）
（RQCA1029）

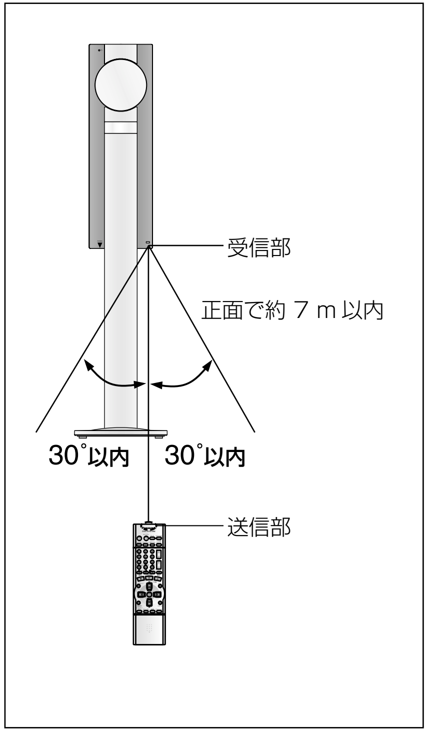


リモコンの準備

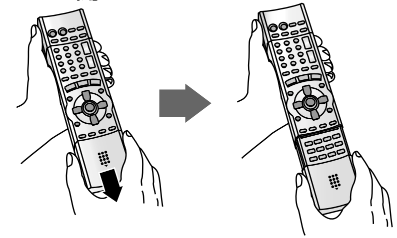
乾電池の入れかた



リモコンの使いかた



ふたの開けかた



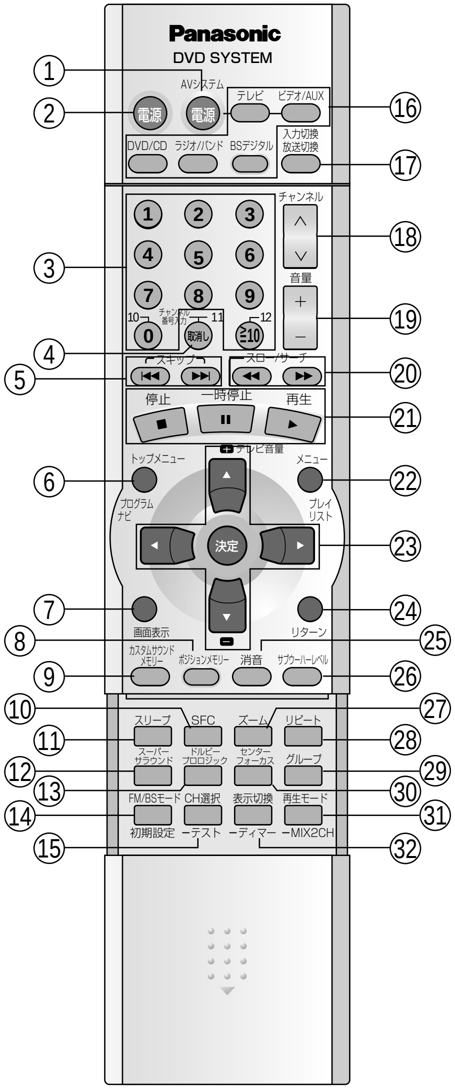
■使用上のお願い
- 受信部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意。

■送信部はふさがない
手に持ったとき、指で送信部をふさがない。

■故障防止のために
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど、液状のものをこぼさない。

各部のなまえとはたらき　（　）内は参照ページです。

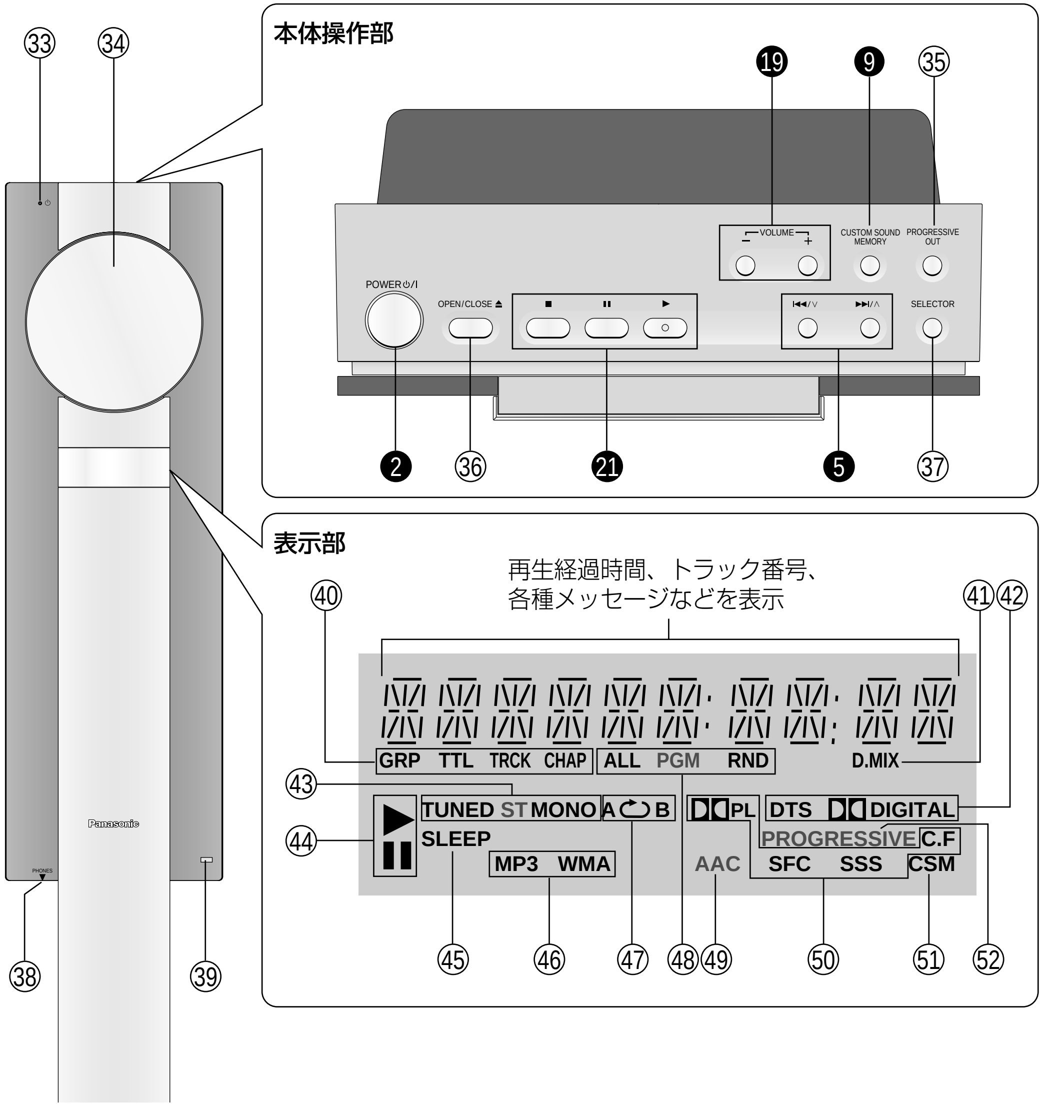
リモコン



① **[電源、AV システム] ボタン**（29）
プラズマテレビなどの電源を入れる。
② **[電源] ボタン**（11）
本体の電源を入れる。
③ **数字ボタン**（13）
④ **[取消し、チャンネル番号入力、11] ボタン**（16、17、29）
入力した数字を取消す。
テレビ/BS/CS のチャンネルを入力する。
⑤ **[⏮、⏭、スキップ] ボタン**（13）
⑥ **[トップメニュー、プログラムナビ] ボタン**（13、20）
ディスクメニューやプログラムナビ画面を出す。
⑦ **[画面表示] ボタン**（21）
GUI 画面を表示する。
⑧ **[ポジションメモリー] ボタン**（15）
電源を切る、セレクターを切り換える、またはディスクを入れ換えたときに再生を始めたい位置を記憶させる。
⑨ **[カスタムサウンドメモリー] ボタン**（27）
ディスクごとに SFC やスーパーサラウンドなどの設定を記憶させる。
⑩ **[SFC] ボタン**（26）
さまざまな音場・音質効果を付ける。
⑪ **[スリープ] ボタン**（28）
指定した時間に電源が切れるように設定する。
⑫ **[スーパーサラウンド] ボタン**（26）
ステレオ音声にサラウンド効果を付ける。
⑬ **[ドルビープロロジック] ボタン**（26）
臨場感あるサラウンドサウンドを楽しむ。
⑭ **[FM/BS モード、初期設定] ボタン**
（11、24、25、30）
強制モノラルや二カ国語放送を切り換える。
初期設定画面を表示する。
⑮ **[CH 選択、−テスト] ボタン**（33）
各スピーカーからの出力レベルを調整する。
各スピーカーからテスト信号を出す。
⑯ **セレクター選択ボタン**（11、24、25、29）
セレクターを切り換える。
リモコン操作モードを切り換える。
ただし、本体に向けて押さなければ、リモコン操作モードのみが切り換わる。
⑰ **[入力切換、放送切換] ボタン**（29）
ビデオ入力、BS と CS を切り換える。
⑱ **[∧、∨、チャンネル] ボタン**（25、29）
テレビ/ラジオのチャンネルを変える。
⑲ **[+、−、音量] ボタン**（24）
本体の音量を調整する。
⑳ **[◀◀、▶▶、スロー/サーチ] ボタン**
（13、14、24）
一時停止中：スロー　　再生中：サーチ
ラジオの周波数を変える。
㉑ **基本操作ボタン**（12）
[▶、再生]、[❚❚、一時停止]
[■、停止]
㉒ **[メニュー、プレイリスト] ボタン**（13、20）
ディスクメニューやプレイリスト画面を表示する。
㉓ **[▲、▼、◀、▶] ボタン/[決定] ボタン**
（11、29）
▲、▼：カーソル上下、テレビ音量大小
㉔ **[リターン] ボタン**（11、13）
ひとつ前の画面に戻る。
㉕ **[消音] ボタン**（28）
㉖ **[サブウーハーレベル] ボタン**（26）
低音を調整する。
㉗ **[ズーム] ボタン**（18）
映像を拡大する。
㉘ **[リピート] ボタン**（17）
曲や番組を繰り返す。
㉙ **[グループ] ボタン**（14）
DVD オーディオ、WMA、MP3 のグループを選択する。
㉚ **[センターフォーカス] ボタン**（27）
センタースピーカーからの音声を画面の中央に集める。
㉛ **[再生モード、− MIX 2CH] ボタン**（16、27）
「オールグループ再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える。
音声を 2 チャンネルにまとめる。
㉜ **[表示切換、−ディマー] ボタン**（25、28）
現在の設定を確認する。
表示窓を暗くする。

本体

❷ や ❺ などのボタンは、リモコンのボタンと同じはたらきをします。



㉝ [⏻] 通電ランプ
㉞ トレイ
㉟ [PROGRESSIVE OUT] (プログレッシブ出力) ボタン (12)
㊱ [OPEN/CLOSE ▲] (トレイ開閉) ボタン (12)
㊲ [SELECTOR] (セレクター切り換え) ボタン (12)
㊳ [PHONES] (ヘッドホン) 端子 (28)
㊴ リモコン受信部 (7)
㊵ メインの表示部
GRP ：グループ番号　TTL ：タイトル番号
TRCK ：トラック番号　CHAP ：チャプター番号
㊶ D.MIX 表示
点滅：マルチチャンネル信号を 2 チャンネルにダウンミックスできない状態
㊷ 音声フォーマット表示
DTS ： DTS
■■DIGITAL ：ドルビーデジタル
㊸ ラジオ放送表示
TUNED ：ラジオ放送受信
ST ： FM ステレオ放送受信時に点灯
MONO ： FM 放送受信時でモノラルにした時に点灯
㊹ 再生表示
▶：再生　❚❚：一時停止
㊺ スリープ表示
㊻ MP3、WMA 表示
㊼ リピート表示
⭯：リピート　A ⭯ B ： A-B リピート
㊽ 再生状態表示
ALL ：オールグループ　PGM ：プログラム
RND ：ランダム
㊾ AAC 受信表示
㊿ 音質音場表示
■■PL ：ドルビープロロジック
SFC ：サウンドフィールドコントロール
C.F ：センターフォーカス
SSS ：スーパーサラウンド
51 カスタムサウンドメモリー表示
52 プログレッシブ出力表示

再生できるディスク

名　称	ロゴマーク	本書内マーク
DVD-RAM 4.7 GB (12 cm) 9.4 GB (12 cm) 2.8 GB (8 cm)	DVD RAM RAM4.7	RAM
DVD オーディオ	DVD AUDIO	DVD-A
DVD ビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD-V
DVD-R	DVD R R4.7	DVD-V
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VCD
CD (CD-R と CD-RW を含む)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD
	—	WMA (WMA フォーマットで記録)
	—	MP3 (MP3 フォーマットで記録)

上記ロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

<ディスクの構成例>

RAM < 番組1/シーン1 | 番組2/シーン2 | 番組3/シーン3 | 番組4/シーン4 | 番組5/シーン5

DVD-A / WMA / MP3 < グループ1 (トラック1 | トラック2 | トラック3) | グループ2 (トラック1 | トラック2)

DVD-V < タイトル1 (チャプター1 | チャプター2 | チャプター3) | タイトル2 (チャプター1 | チャプター2)

CD / VCD < トラック1 | トラック2 | トラック3 | トラック4 | トラック5

■ DVD-R ディスク

当社製 DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ※した当社製 DVD-R は「DVD ビデオ」として再生できます。使用するディスクや記録状態により、再生できない場合もあります。

■ CD-R/CD-RW ディスク

CD-DA、ビデオ CD、WMA、MP3 のいずれかのフォーマットで記録し、録音終了時にファイナライズ※した音楽用 CD-R と CD-RW を再生できます。記録状態により再生できない場合もあります。

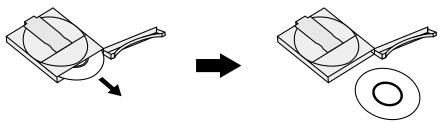
※ 再生対応機器で再生できるように処理すること

■ DVD-RAM ディスク

以下の条件に合ったディスクが再生できます。

タイプ	●カートリッジなし ●カートリッジ付で取出しできるもの (TYPE 2 と 4)
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1 (ビデオ録画のための統一規格) で記録されたディスク

● カートリッジ付ディスク再生時はディスクをカートリッジから取り出してください (詳細はディスクに付属の説明書などをご参照ください)。



● 取り出したディスクに傷、汚れを付けないでください。
● 使用後は、カートリッジに収納することをおすすめします。収納時には、カートリッジの印刷面とディスクの印刷面を同じ側にしてください。
● 番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。
● 記録状態により再生できない場合もあります。

お知らせ

● DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。
● 表示窓に経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオ CD の場合、一部の機能が働かない場合があります。

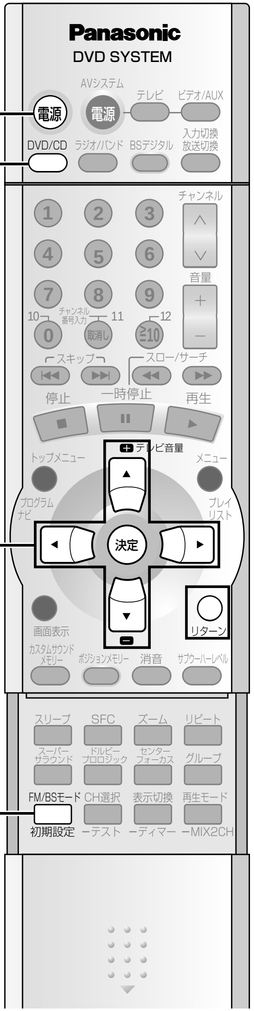
● **PAL 方式で記録された DVD オーディオの再生**
PAL から NTSC に方式を変換して再生します。映像を縮小して全体を表示しますが、上下に引き延ばされた画面になることがあります。

再生できないディスク

● リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
● PAL 方式で記録されたディスク (DVD オーディオは再生できます。)
● DVD-RAM (2.6 GB、TYPE 1)
● DVD-ROM　● +RW　● DVD-RW
● CD-ROM　● CD-G　● CVD
● SACD　● CDV　● Photo-CD
など

テレビに合わせて設定

1
2
4·5·6
3



クイックセットアップで設定できる項目

- 画面メニュー言語
- 音声言語
- 字幕言語
- 接続する TV
- TV アスペクト

操作の前に！

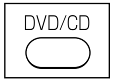
- テレビのビデオ入力（ビデオ 1 など）を切り換える。
- プログレッシブ対応テレビの場合、D 映像端子を使って接続する。（➡ 設置接続編「システムアップ」）

1



押して
電源を入れる

2



押して
“DVD/CD”にする

3

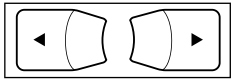


押す

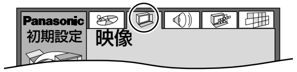
お買い上げ後初めてのときは、基本的な設定が簡単に行える「クイックセットアップ画面」が表示されます。（次回から初期設定画面）
[▲、▼] と **[決定]** で

- **する** を選ぶと画面上のガイドに従って設定することができます。
  設定後、[決定] を押してください。
- 設定できる項目（➡ 左記）
- **しない** を選んだ場合は、次の手順に進んでください。「しない」を選んでも、再び行うことができます。（➡ 31 ページ「クイックセットアップ」）

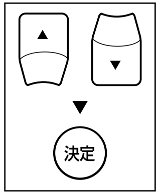
4



押して
“映像”を選ぶ



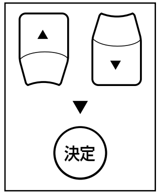
5



押して
項目を選び

押す

6

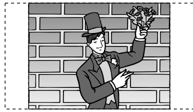


押して
内容を選び

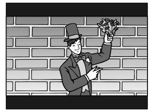
押す

TV アスペクト

- **標準（4：3）サイズのテレビ**
  （16：9 の映像の表示方法を選択）
  −4：3 パン&スキャン（お買い上げ時の設定）
  左右の切れた映像
  （パン&スキャン）
  パン＆スキャンで再生することが指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。



  −4：3 レターボックス
  上下に帯のある映像
  （レターボックス）



- **ワイドサイズのテレビ**
  −16：9（必要に応じて、テレビ側の画面モードの設定も行ってください。）

接続する TV

−標準（ブラウン管テレビ）（お買い上げ時の設定）
−３管式プロジェクター
−液晶テレビ/プロジェクター
−プロジェクションテレビ
−プラズマテレビ

■ひとつ前の画面に戻るには

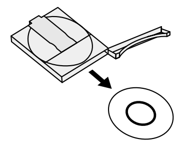
[リターン] を押す

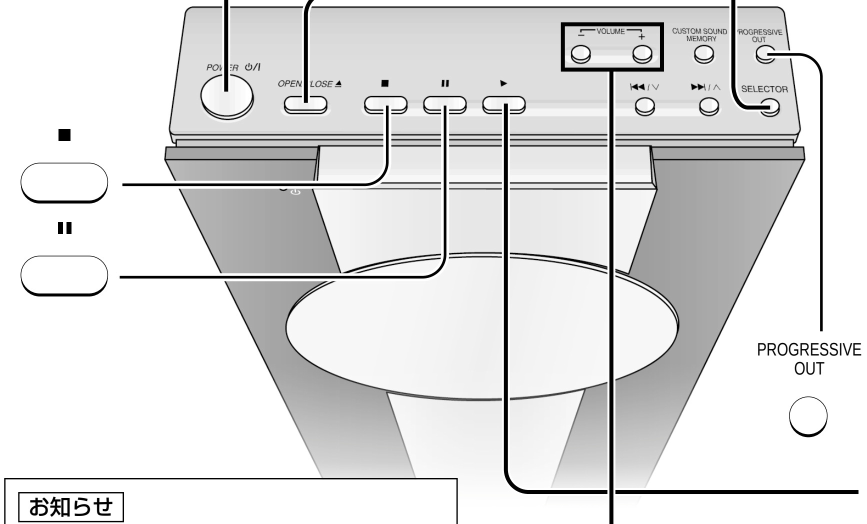
■設定を終了するには

[初期設定] を押す

DVD と CD を楽しむ

テレビの設定はお済みですか。(➡ 11 ページ)





1

POWER⏻/I

押して
電源を入れる

2

SELECTOR

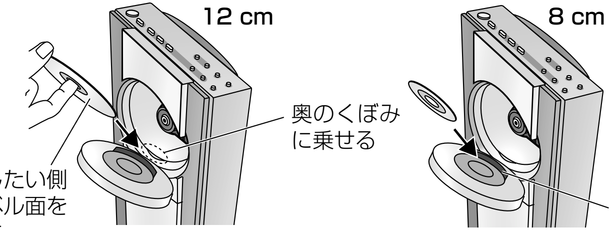
押して
"DVD/CD"を選ぶ

3

OPEN/CLOSE ▲

① 押してトレイを開け
ディスクを入れる

ディスクの入れかた



② 押して
トレイを閉める

- ディスクが正しくセットされていない場合は、"CLOSE ERR" が点滅し、トレイが自動的に開きますので、もう一度セットしてください。

4

▶

押して
再生を始める
(メニュー画面が表示されたときは ➡ 13 ページ)

5

VOLUME − +

押して
音量を調整する

－－ dB (最小) ◢ 0dB (最大)

お知らせ

- "⊘" がテレビ画面に表示されたときは、ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
- 映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。

■ 一時停止するには

॥ 押す
([▶] を押すと通常再生に戻ります。)

■ 停止するには

■ 押す
(表示窓に、"RESUME"と表示されたら
➡15 ページ、「続き再生メモリー機能を使う」)

プログレッシブ映像を楽しむには

PROGRESSIVE OUT

押す

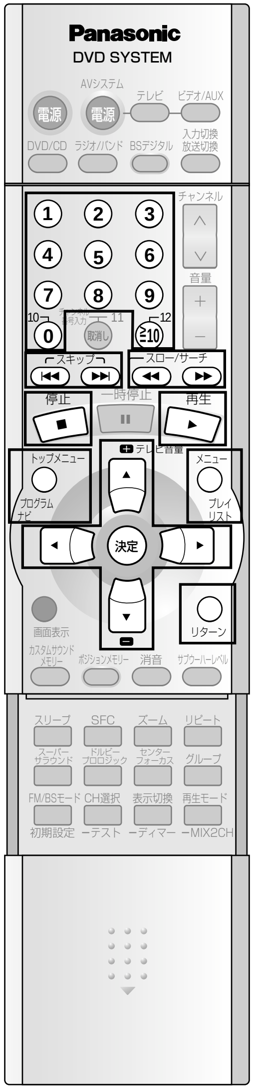


一瞬、画面が乱れますが故障ではありません。

- 本機の「VIDEO OUT」端子または「S1 VIDEO OUT」端子を使ってテレビと接続したときは、表示窓の "PROGRESSIVE" 表示点灯にかかわらず、プログレッシブ出力にはなりません。

■ さらにお好みの画質で楽しむ

(➡ 22 ページ「画質設定」)



メニュー画面を表示したときは

DVD-A DVD-V VCD

①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ⓪ ≧10

押す

2 ケタ数字の入力
例) 25
[≧10] → [2] → [5]

- DVD の場合、[▲、▼、◀、▶] で項目を選び、[決定] を押しても選べます。

■メニュー画面に戻すには

DVD-A DVD-V **[トップメニュー]** (最初のメニュー画面)
DVD-V **[メニュー]** (メニュー画面)
VCD **[リターン]**

メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付け等を防止するため、続けて再生しないときは [■] を押して再生を停止してください。

CD (テキスト) WMA MP3
画面の下部に文字情報が表示されます。
トラック情報を消すには (➡ 21 ページ)
メニュー再生を使うと、より便利に操作できます (➡ 18 ページ)

早送り・早戻し

再生中
スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ **押す**

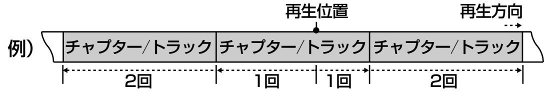
- 押すたびに速くなります。(5 段階)
- [▶] (再生) を押すと通常再生に戻ります。
- 音声を消すこともできます。(➡ 31 ページ「早送り時の音声」)

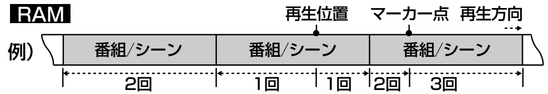
■再生速度を微調整する DVD-V
(➡ 23 ページ)

番組・場面・曲を飛び越す (スキップ)

再生/一時停止中
スキップ |◀◀ ▶▶| **押す**

押した回数だけ飛び越します。





- コマーシャルなどが録画されていると、そこにスキップすることがあります。

番組・タイトル・曲を番号指定で再生

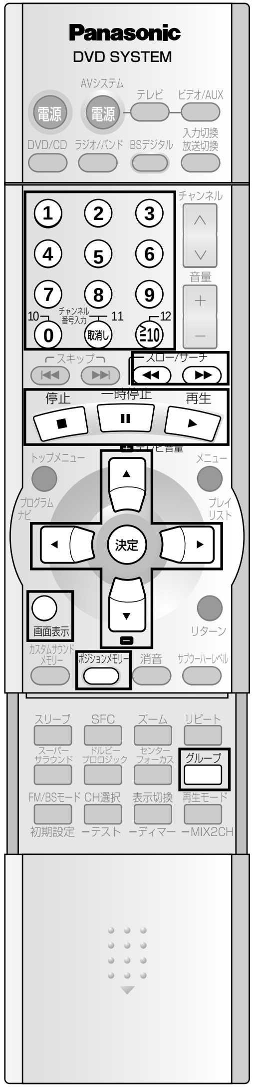
①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ⓪ ≧10

押す

2 ケタ数字の入力
例) 25
[≧10] → [2] → [5]
WMA MP3
[2] → [5] → [決定]

- 停止中のみ働くディスクもあります。

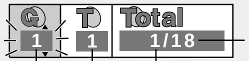
使う
DVDとCDを楽しむ



グループを選んで再生

DVD-A WMA MP3

グループ **押す**
押すたびにグループ番号が変わります。

例) WMA/MP3


ディスク内の総トラック数
グループ番号
ディスク内のトラック番号
グループ内のトラック番号

決定 **押す**

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 **トラック番号を選ぶ**

決定 **押す**

- カーソルボタンでも番号を選べます。
- 再生状態によっては、グループを選べないこともあります。
- **すべてのグループを順に再生する DVD-A** (➡ 16 ページ)

ボーナスグループの再生 DVD-A

暗証番号の入力により再生可能になる「ボーナスグループ」を収録したディスク（ディスクのジャケットなどもご参照ください）

1. **停止中、[グループ] を押してボーナスグループを選ぶ**
（上記手順 1 番目、2 番目）
2. **数字ボタンで暗証番号を入力する**
[取消し] で消すことができます。
3. **[決定] を押す**
4. **数字ボタンで、トラック番号を選び [決定] を押す**

電源を切る、セレクターを切り換える、またはトレイを開けると、再び暗証番号の入力が必要になる場合があります。

コマ送り・コマ戻し

RAM DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD

一時停止中

◀ ▶ **押す**

- 押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻しします。
- [▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- [❚❚] を押してもコマ送りできます。

スロー再生

RAM DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD

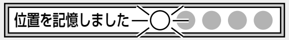
一時停止中

スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ **押す**

- 押すたびに、速くなります。（5 段階）
- [▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。

記憶させた位置から再生（ポジションメモリー機能）

再生中
ポジションメモリー
押す



続けて押すと上書きされます

電源を切る、セレクターを切り換える、またはディスクを取り出す。

電源を入れる、セレクターを“DVD/CD”にする、または位置を記憶させたディスクを入れ、“RESUME”が表示されたら

再生
押す

RESUME

前回記憶した位置から再生が始まります。**（この時点で記憶は消去）**

- ディスク５枚分まで記憶可能です。６枚目以降は、一番古い記憶から順に消去されます。
- ディスクによっては、記憶できない箇所もあります。

続き再生メモリー機能を使う

再生中、[■] を押すと、停止した位置が記憶されます。
“RESUME” 表示中に [▶]（再生）を押すと、停止した位置から再生が始まります。
ただし記憶した位置は、トレイを開ける、セレクターを切り換える、または電源を切ると、解除されます。

あらすじリプレイ（同一タイトル内のみ）

DVD-V

“RESUME” 表示中に [▶]（再生）を押すと、テレビにメッセージが表示されます。メッセージ表示中に [▶]（再生）を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、記憶した位置から通常再生が始まります。
[▶]（再生）を押さずに放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

■メモリー機能を解除するには
“RESUME” が消えるまで [■] を押す

字幕切り換え

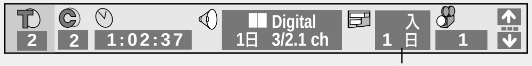
DVD-A（動画部のみ）DVD-V

字幕が複数記録されているディスク

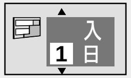
RAM 字幕の「入」「切」のみできます。

画面表示
再生中、数回押して
ディスク情報画面を出す
（➡ 21 ページ）

例）: DVD ビデオ



押して
選ぶ

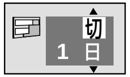


押して
切り換える

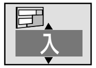
- “- -” 表示は字幕が記録されていません。
- 変更後は、字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■字幕を「入」「切」するには
1. [◀、▶] を押して、下記アイコンを選ぶ

DVD-A
DVD-V



RAM



2. [▲、▼] を押して選ぶ

■字幕位置/明るさの調整 DVD-A DVD-V
（➡ 23 ページ「表示設定」）

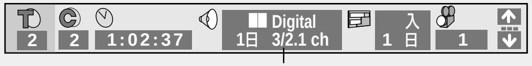
音声切り換え

RAM DVD-A DVD-V VCD

音声が複数記録されているディスク

画面表示
再生中、数回押して
ディスク情報画面を出す
（➡ 21 ページ）

例）: DVD ビデオ

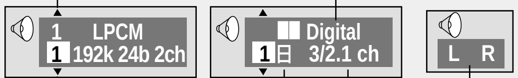


押して
下記アイコンを選ぶ

DVD-A
再生中の音声番号

RAM DVD-V
音声属性（➡ 下記）

RAM
VCD



選んだ音声番号
音声言語（➡ 下記）
チャンネル（➡ 40 ページ）
音声モード

押して
切り換える

- “–” 表示、“---” 表示は音声が記録されていません。

DVD-A
- （静止画付トラックと音声のみのトラック）
  音声が切り換わると、トラックの先頭に戻ります。
- ２つ目の音声がなくても、通常は選んだ音声番号を２まで表示します。（再生中の音声番号は１のままです。）

音声属性
LPCM/PPCM/■■Digital/DTS/MPEG : 信号タイプ
k : サンプリング周波数　b : ビット数　ch : チャンネル数

音声/字幕言語

日：日本語	伊：イタリア語	露：ロシア語
英：英語	西：スペイン語	韓：韓国語
仏：フランス語	蘭：オランダ語	＊：その他
独：ドイツ語	中：中国語	

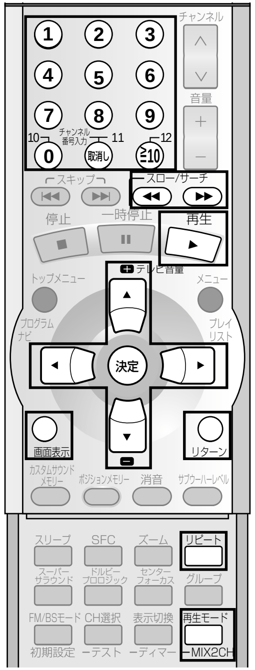
DVD と CD のいろいろな再生

1 オールグループ/ランダム/プログラム再生の共通操作

再生モード ーMIX2CH

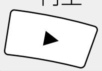
停止中
押して、再生モードを選ぶ

押すたびに
オールグループ再生（DVD-A）→プログラム再生
↑―通常再生←ランダム再生←┘



2 すべてのグループを順に再生（オールグループ再生）

DVD-A



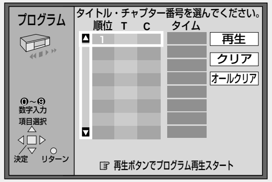
押す



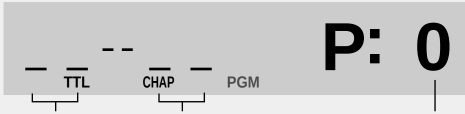
2 好みの順に再生（プログラム再生）

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

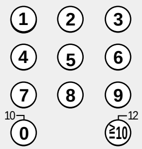
最大 32 トラック(チャプター)まで好みの順に再生します。



例）DVD ビデオ



タイトル番号　チャプター番号　予約順



DVD-V
押してタイトルを選び、続けてチャプターを選ぶ

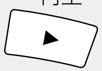
DVD-A WMA MP3
押してグループを選び、続けてトラックを選ぶ

● WMA MP3 （トラック）ー選んだ後、[決定] を押す

VCD CD
押してトラックを選ぶ

必要な回数だけ繰り返す

2 ケタ数字の入力
例) 25
[≧10]→[2]→[5]
WMA MP3 :
[≧10] 不要



押す

■ カーソルボタンでも選べます

[決定] を押して [▲ ▼] で選び、[決定] で確定する。
“ALL” を選ぶと全曲（ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲）が予約されます。

■ 予約を変更するには

1. [▲、▼] で変更したい項目を選ぶ
2. 追加：左記の手順を行う，取消し：[取消し] を押す
   - [▲、▼、◀、▶] で “クリア” を選び、[決定] を押しても取り消せます

■ 予約画面の前後のページを表示するには

[◀◀] または [▶▶] を押す。

■ 予約を全て取消すには

[▲、▼、◀、▶] で “オールクリア” を選び、[決定] を押す。

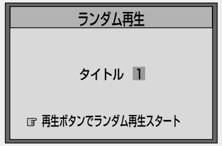
- DVD-V WMA MP3 ：“タイム” は表示されません。
- 予約内容は電源を切る、セレクターを切り換える、[再生モード] を押す、またはトレイを開けると消去されます。

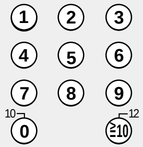
2 順不同に再生（ランダム再生）

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

（例）DVD ビデオ

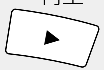






押して
タイトル（DVD-V）または
グループ（DVD-A）を選ぶ

DVD-A
- 複数のグループが選べます。
- すべてのグループを選ぶには、[◀、▶] で “オール” を選び [決定] を押す。
- 選んだグループを取消すには、数字ボタンでグループ番号を入力する。



押す

DVD-A
プログラム/ランダム画面でボーナスグループを選んだときは、暗証番号（4 ケタ）を入力してください。（➡ 14 ページ）

好みの位置を記憶（マーカー）

もう一度見たい/聞きたい場所にマークを付けておくと、あとでそこから再生することができます。

画面表示 再生中、数回押して
本機情報画面を出す（➡ 22 ページ）

▲ ▼ 押して
選ぶ



◀ ▶ 押して
「マーカー」を選び

決定 **押す**
RAM 続けて［▶］で“＊”を選ぶ

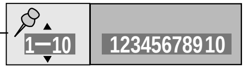
決定 もう一度見たい/聞きたいところで押し
マークを付ける

■ 他にマークを付けるには
（最大 5 箇所、RAM のみ 999 箇所）
［◀、▶］→マークを付けたいところで **[決定]**

■ マークを付けた場所から再生するには
［◀、▶］→ **[決定]**

■ マークを取消すには
［◀、▶］→ **[取消し]**

■ 11 個以上マークを付けるには（RAM のみ）
1. ［◀、▶］でマーカーピンアイコンをハイライトさせる



2. ［▲、▼］で“11 ～ 20”を選ぶ。
10 個マークが付いた時点で、次の 10 番台が選べます。

お知らせ
- 本機で付けたマークは、電源を切る、セレクターを切り換える、またはトレイを開けると取り消されます。

繰り返し再生（リピート再生）

再生中
リピート **押す**



押すたびに

RAM

番組 → ディスク全体 → 通常再生

（プレイリスト再生時 ➡ 20 ページ）

シーン → プレイリスト → 通常再生

DVD-V

チャプター → タイトル全体※ → 通常再生

VCD CD

トラック → ディスク全体 → 通常再生

DVD-A WMA MP3

トラック → グループ※ → 通常再生

※オールグループ（DVD-A のみ）/プログラム再生/ランダム再生時は“オール”と表示されます。

お知らせ

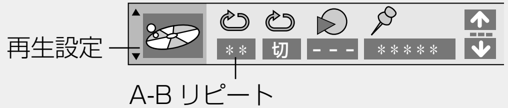
DVD ビデオ、WMA、MP3 のディスク全体、および DVD-RAM の全プレイリストの繰り返し再生は選べません。

■好みのトラック/チャプターを繰り返し再生する
DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3
1. 好みのトラック/チャプターをプログラム再生する（➡ 16 ページ）
2. 再生中［リピート］を押して“オール”を選ぶ

好みの 2 点間を繰り返し再生（A-B リピート再生）

同一番組/タイトル/トラック内で指定した 2 点間を繰り返し再生することができます。

画面表示 再生中、数回押して
本機情報画面を出す（➡ 22 ページ）

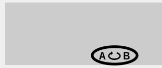


［◀、▶］で A-B リピートを選び

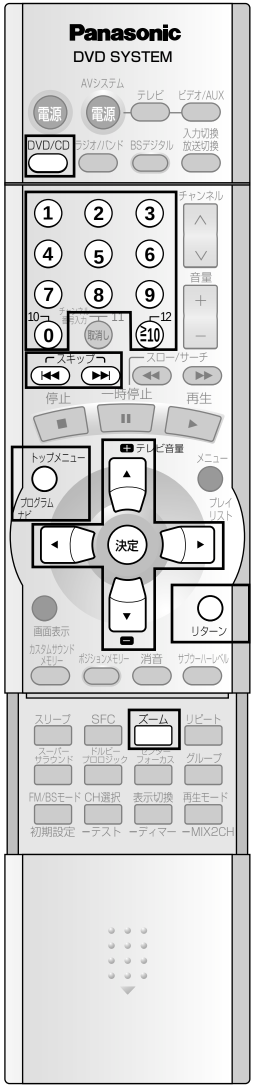
決定 始点（A 点）で
押す

決定 終点（B 点）で
押す

A-B リピート再生が始まります。



- 表示を消すには、本機情報画面が消えるまで、［リターン］を押す。
- 通常再生するには、本機情報画面の“A-B リピート”をハイライトさせた後、［決定］を押して“＊＊”を表示させる



DVD と CD のいろいろな再生（つづき）

映像を拡大（ズーム）

RAM DVD-A（動画部のみ）DVD-V VCD

いろいろな横縦比の映像を、拡大して上下の黒帯をなくすことにより、お使いのテレビ画面サイズに近づけることができます。

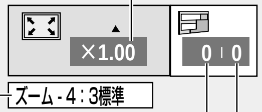
操作の前に！

"初期設定" の "TV アスペクト" をテレビに合わせて設定してください。（➡ 11 ページ）

再生中

ズーム **押す** ズーム倍率

例）DVD ビデオ



吹き出し表示

字幕位置移動
（➡ 23 ページ「表示設定」）

字幕明るさ
（➡ 23 ページ「表示設定」）

押すたびに切り換わります。

4：3 標準→ヨーロピアンビスタ→ 16：9 標準
↑ ↓
シネマスコープ 2 ←シネマスコープ 1 ←アメリカンビスタ

（➡ 40 ページ「スクリーンサイズ」）

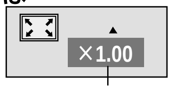
ズームアイコン表示中に
［決定］→［◀、▶］で選ぶこともできます。

次の場合はズーム倍率が "×1.00" になります。

- メニュー画面表示中（"×1.00" にならない場合もあります）
- 電源を切る、セレクターを切り換える、またはトレイを開けたとき

■ ズーム倍率を微調整するには

ズームアイコン表示中、
［▲、▼］を押す



1.00 倍〜 1.60 倍まで 0.01 倍刻み、
1.60 倍〜 2.00 倍まで 0.02 倍刻みで調整

WMA・MP3・CD テキストのメニュー再生

CD（テキスト）WMA MP3

WMA MP3

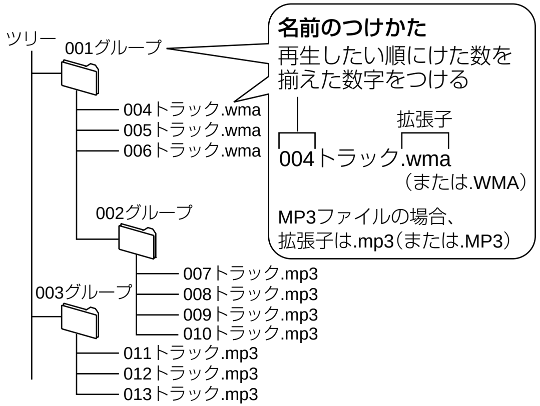
パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名として表示します。

CD（テキスト）

ディスクにテキスト情報が記録されている場合、ディスクタイトル/アーティスト/トラック名を表示します。

再生される順番

WMA MP3



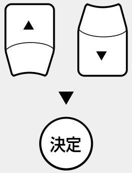
CD（テキスト）

市販のソフト等で作った CD テキストは、タイトルの数字に関係なく作成したトラック順に再生します。
（詳しくはソフト等の説明書をご参照ください。）

操作の前に！

[DVD/CD] を押す





押して
トラックを選び

押す

ディスクの最後まで続けて再生したあと、停止します。

前後のページを表示するには

[▲、▼、◀、▶] で “前ページ”、“次ページ” を選んで **[決定]** を押す。

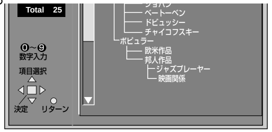
1 つのグループのトラックをすべて表示してから、次のグループを表示します。

■ メニュー画面を閉じるには

[トップメニュー] を押す

ディスクの全体図（ツリー画面）を見てグループを選ぶには WMA MP3

1. メニュー画面表示中 [▶] を押してツリー画面を表示する。



2. [▲、▼] でグループを選び [決定] を押す。
選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

タイトル名を検索して再生

ひらがな、カタカナ、英数字をローマ字入力で検索します。（大/小文字は区別されません。）

■ 入力した文字を含むタイトルを検索するには

例）「うた」を含む曲を検索する

メニュー画面表示中

1. [▲、▼] で “検索” を選び [決定] を押す。



2. [▲、▼] で “U” を選び [決定] を押す。

[▲] を押すたびに

A → B →···→ Z → 0 → 1 →···→ 9

（数字はリモコンの数字ボタンでも入力できます。）

- [⏮、⏭] で “A、E、I、O、U” にスキップします。
- 確定した文字を変更するには [◀] を押し、文字をハイライトさせてから選び直します。

続けて、“T” “A” と入力します。

3. [▶] で “検索” を選び、[決定] を押す。

検索結果が画面に表示されます。

4. [▲、▼] で曲を選び [決定] を押す。

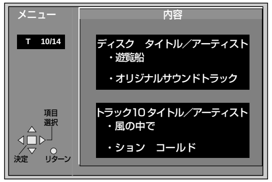
続きの曲は、[▼] を押し続けると表示されます。

■ 入力した文字で始まるタイトルを検索するには

上記手順 1 のあと、[◀] で “＊” を消してから入力する。

曲情報を見る CD（テキスト）

1. メニュー画面表示中 [▲、▼] で曲を選ぶ。
2. [▶] を押す。
曲情報が表示されます。
[◀、▶] で、他のトラックの曲情報が確認できます。
[決定] を押すと、メニュー画面に戻り、再生が始まります。



■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン] を押す。

お知らせ

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- メニュー画面での表示の順番は、パソコンのディスプレイで表示される順番と違うことがあります。
- ディスクの作りかたによっては、順番通りに再生できないことがあります。

WMA

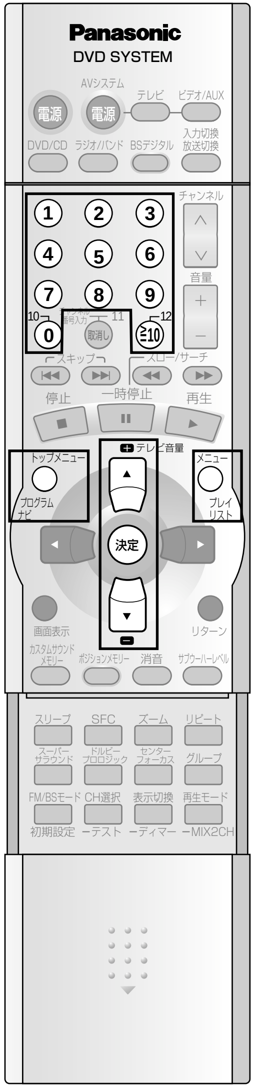
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 再生中に雑音が生じることがあります。

MP3

- 静止画データの入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
- 本機は、ID3 タグには対応していません。

RAM の番組・プレイリスト再生

RAM

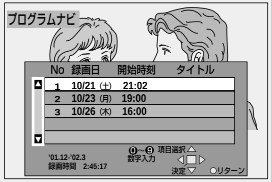


番組を選んで再生（プログラムナビ再生）

番組リストから選んで再生できます。

トップメニュー **押す**

プログラムナビ



▲ ▼ 押して

見たい番組を選ぶ

背景では、現在選択中の番組が再生されます。

- 続きの番組は [▼] を押し続けると表示されます。

決定 **押す**

背景で再生していた続きから再生されます。

好みのシーンを再生（プレイリスト再生）

プレイリスト（好みのシーンを集めたリスト）を再生できます。

メニュー **押す**

プレイリスト



▲ ▼ 押して

見たいプレイリストを選ぶ

- 続きのプレイリストは [▼] を押し続けると表示されます。

決定 **押す**

■ 番組やプレイリストは数字ボタンでも選べます。

2 ケタ数字の入力

例) 25

[≧10] → [2] → [5]

■ 番組リスト画面やプレイリスト画面を消すには

プログラムナビ再生：[プログラムナビ] を押す。

プレイリスト再生：[プレイリスト] を押す。

（リスト画面を呼び出したときの画面に戻ります。）

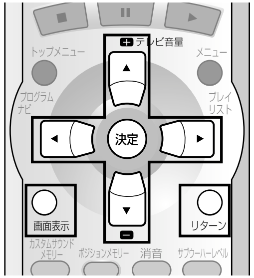
■ 表示窓に "S-PIC" と表示されたら

静止画を再生しています。

お知らせ

- 本機では、タイトルの入力/変更やプレイリストの作成はできません。

絵表示(GUI 画面)を使って操作する



G U I(Graphical User Interface)とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI 画面」と呼びます。

画面表示 押して **変更したい画面表示を出す**
押すたびに「ディスク情報」→「プログレスインジケーター」→「本機情報」→元の画面の順に切り換わります。

「本機情報」のときのみ、左端のアイコンが選ばれた状態で、押して **変更したい画面表示を出す**

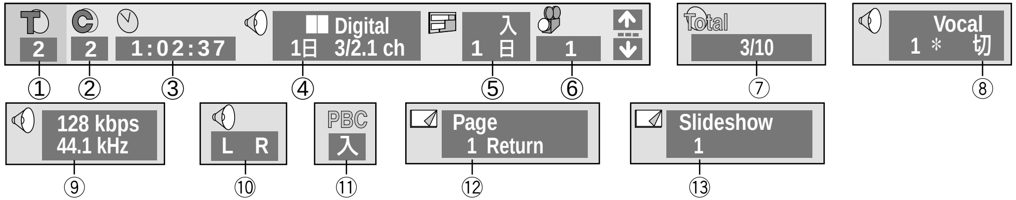
押して **変更したい項目を選ぶ**

押して **お好みの設定を選ぶ**
数字ボタン→ [決定] で変更できるものもあります。

■ GUI 画面の位置を移動させるには
[◀、▶] で一番右の矢印アイコンを選び、[▲、▼] で移動する (5 段階)

■ 画面表示を消すには
GUI 画面が消えるまで、[リターン] を押す

ディスク情報

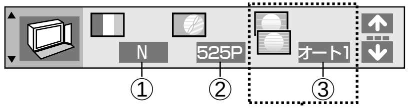


番号	内 容	操 作
①	PG：プログラム番号 RAM PL：プレイリスト番号 RAM G：グループ番号 DVD-A WMA MP3 T：タイトル番号 DVD-V トラック番号 VCD CD	[▲、▼] ↓ [決定]
②	T：グループ内のトラック番号 DVD-A WMA MP3 C：チャプター番号 DVD-V	
③	時間指定再生 RAM DVD-A DVD-V 例) 1 時間 46 分 50 秒から再生 [1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[決定]	数字ボタン ↓ [決定]
	時間表示 RAM DVD-A DVD-V VCD CD (WMA MP3 は経過時間のみ) → 番組/プレイリスト/タイトル/トラックの経過時間 ↓↑ グループ(DVD-A)/ディスク(VCD CD)の残り時間 ↓↑ → 番組/プレイリスト/タイトル/トラックの残り時間	[▲、▼]
④	音声番号 RAM DVD-A DVD-V (➡ 15 ページ)	

番号	内 容	操 作
⑤	字幕番号 DVD-A DVD-V (➡ 15ページ) 字幕「入」「切」 RAM DVD-A DVD-V トラック情報「入」「切」 WMA MP3 CD (テキスト)	[▲、▼]
⑥	アングル番号 DVD-A DVD-V	
⑦	トータルトラック番号 WMA MP3 再生・選択中のトラック番号/ディスク内の総トラック数	[▲、▼] ↓ [決定]
⑧	カラオケボーカル「入」「切」 DVD-V (カラオケ DVD のみ) デュエットディスクの場合、「V1」または「V2」を選ぶと、ひとりでもデュエットできます。	[▲、▼]
⑨	現在のビットレート(kbps) 現在のサンプリング周波数(kHz) WMA MP3	変更不可
⑩	音声モード RAM VCD	[▲、▼]
⑪	メニュー再生の「入」「切」状態表示 VCD (PBC 付 VCD のみ)	変更不可
⑫	静止画番号 DVD-A 番号を選ぶとその画像で再生 Page 1 に戻る： [◀、▶]→"Return"を選ぶ→[決定]	[▲、▼]
⑬	スライドショー DVD-A 静止画が自動的に切り換わる	変更不可

本機情報

画質設定



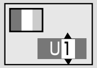
"PROGRESSIVE" 点灯中のみ表示

RAM DVD-A DVD-V VCD

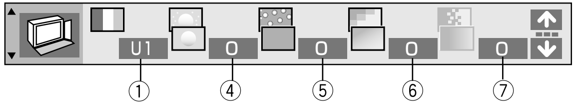
番号	内　容	操　作
①	**画質モード** **N**：通常 **S**：ソフト（ざらつきの少ない柔らかな画質） **F**：ファイン（輪郭の強調されたくっきりした画質） **C1**：シネマ１（映画館で見ているようなしっとり感） **C2**：シネマ２（昔の映画などをくっきり） **U1/U2/U3**：ユーザー画質（➡ 右記）各種調節ができます。	[▲、▼]
②	**ビデオ出力モード** ●525I：インターレース映像 ●525P：プログレッシブ映像（"PROGRESSIVE" 表示点灯）	
③	表示窓の "PROGRESSIVE" 点灯中のみ **変換モード** プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける。 ●**オート１（標準）**：映画再生 ●**オート２**：オート１の変換方法に加え、30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応 ●**ビデオ**：ビデオ素材	[▲、▼]

ユーザー画質モードを変更するには

1. [▶] で数字をハイライトさせる
2. [▲、▼] で "1" ～ "3" を選ぶ

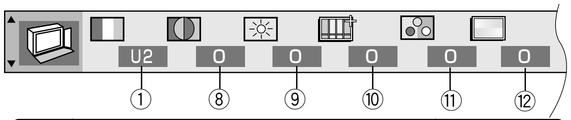


U1：MPEG D.N.R.(デジタル・ノイズ・リダクション)



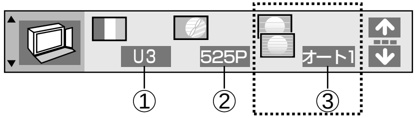
番号	内　容	操　作
④	**スペース NR**（0 ～＋4） 主に背景部分に現れるノイズを消去	[▲、▼]
⑤	**3 次元 NR**（0 ～＋4）/**ドット NR-入**（ON） 画面全体のノイズを除去/ 色と色の境界にみられるドット状のノイズを軽減	
⑥	**ブロック NR**（0 ～＋3） 動画にみられるモザイク状のノイズを除去	
⑦	**モスキート NR**（0 ～＋3） 周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを除去	

U2：ユーザー画質調整機能



番号	内　容	操　作
⑧	**コントラスト**（−7 ～＋7） 白黒の強弱	[▲、▼]
⑨	**明るさ**（0 ～＋15） 画面全体の明るさ	
⑩	**シャープネス**（−7 ～＋7） 水平方向の鮮鋭度（解像感）	
⑪	**カラー**（−7 ～＋7） 色の濃さ	
⑫	**ガンマ**（0 ～＋5） 暗い部分の明るさ	

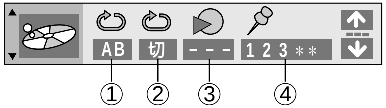
U3：



① ～ ③：➡ 左記

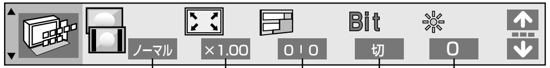
"PROGRESSIVE" 点灯中のみ表示

再生設定



番号	内　容	操　作
①	**A-B リピート再生**（➡ 17 ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3	[決定]
②	**リピート再生**（➡ 17 ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3	[▲、▼]
③	**再生モード** DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 - - -：通常 PGM：プログラム RND：ランダム ALL：オールグループ DVD-A	変更不可
④	**マーカー** RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3	17 ページ

表示設定

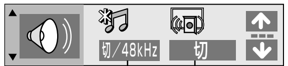


① ② ③ ④ ⑤

番号	内　容	操　作
①	**4：3アスペクト** RAM DVD-A DVD-V VCD プログレッシブ出力時に16:9のプログレッシブテレビへの4:3の表示のしかたを選ぶ **●ノーマル：** テレビの画面幅いっぱいに引き延ばす **●オート：** 通常は“シュリンク”に、レターボックスの映像は“ズーム”に自動的に切り換える **●シュリンク：** テレビ画面中央に4:3の画面比のまま映す **●ズーム：** “ノーマル”の映像を縦に引き延ばす	[▲、▼]
②	**ズーム**（➡ 18ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD	[決定] ↓ [◀、▶] ↓ [決定]
	ズーム倍率を微調整する	[▲、▼]
③	**字幕位置移動/明るさ** DVD-A DVD-V 字幕移動（0～−60）：2段階ずつ調整 字幕明るさ（オート※/0～−9） ※画面の明るさに応じて自動的に調整	[▲、▼]

番号	内　容	操　作
④	**ビットレート表示「入」「切」** RAM DVD-A DVD-V VCD 映像の種類（I/P/B ➡ 40ページ）とビットレートの目安を表示する	[▲、▼]
	ビットレートの表示を切り換える  動画再生時：再生画像の平均ビットレート 静止時：映像の種類とフレームのデータ量  現在のビットレート 平均ビットレート サンプリング期間中のビットレート履歴	[◀、▶]
⑤	**OSD明るさ**（−3～+3） 画面表示の明るさを調整する。	[▲、▼]

音声設定



① ②

番号	内　容	操　作
①	**リマスター**（➡ 27ページ） RAM DVD-A DVD-V CD WMA MP3	[▲、▼]
②	**ダイアログエンハンサー「入」「切」** DVD-V （センターチャンネルにセリフが入っているディスク） 映画のセリフを聞き取りやすくします。ディスクによっては、効果の出にくいものや出ないものがあります。	[▲、▼]

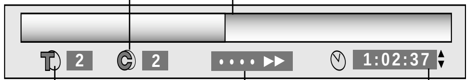
プログレスインジケーター

番組/プレイリスト/タイトル/トラック内で、現在どの部分を再生しているかを表します。再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

C（チャプター番号） DVD-V

T（グループ内のトラック番号） DVD-A WMA MP3

現在の再生位置　　例）DVDビデオ



再生状態
再生速度（➡ 下記）

PG（プログラム番号） RAM

PL（プレイリスト番号） RAM

T（タイトル番号） DVD-V

T（トラック番号） VCD CD

G（グループ番号） DVD-A WMA MP3

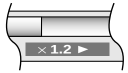
番組/プレイリスト/タイトル/トラック経過時間↔残り時間 [▲、▼]で切り換える（WMA MP3は経過時間のみ）

再生速度を微調整する

DVD-V（ドルビーデジタルのディスク）

セリフなどを聞きながら速く再生したり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときなどに使います。

例）1.2倍速

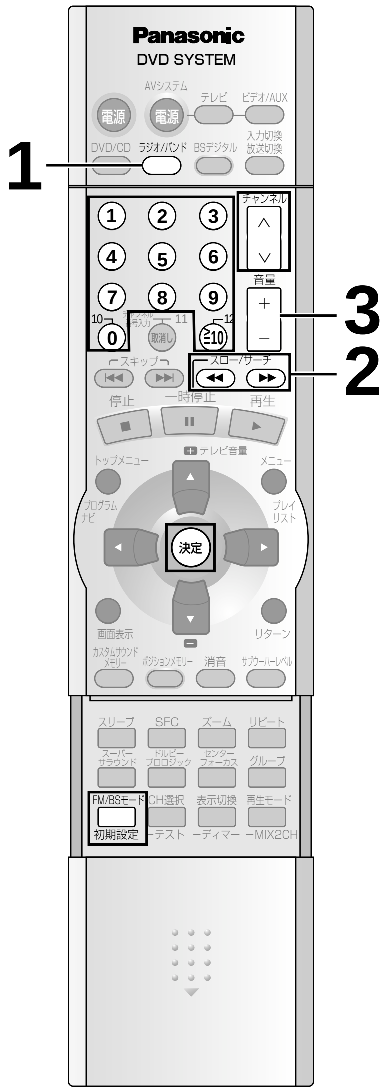


再生中
[◀、▶]を押す

速度表示の色が変わり、速度変換モードになります。
×0.8↔×0.9↔×1.0↔×1.2↔×1.4

- 以下のとき、通常再生に戻ります。
  - [▶]（再生）を押す。
  - 速度変換モードが“×1.0”のときにプログレスインジケーター表示を消す。
- 速度変換中は、2チャンネル出力になります。
- ディスクによっては働かない箇所があります。

ラジオを聞く

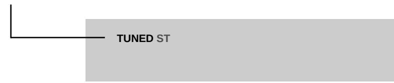


好みの放送局を聞く

1 [ラジオ/バンド] 押して
"FM"または"AM"を選ぶ

2 [スロー/サーチ ◀◀ ▶▶] 押して
好みの放送局を受信する

TUNED ：正確に受信すると点灯
ST ： FM ステレオ放送を受信すると点灯



自動選局（オートチューニング）するには、[◀◀] または [▶▶] を押し続けて周波数が動き出したら指をはなす。
放送局を受信すると、止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作を続けてください。

3 [音量 ＋ －] 押して
音量を調整する
－－ dB （最小） ◢ 0dB （最大）

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは

[FM/BS モード] を押して、"MONO" を表示させる
強制的にモノラルになります。
押すたびに
MONO ⟷ ST



通常は "ST" にしておきます。

■ AM 放送の受信状態が悪いときは

テレビが近くにある場合はテレビの主電源を切ってください。

放送局を記憶させる

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AM とも 15 局まで記憶させることができます。

自動で記憶させるには

[ラジオ/バンド] 押して
"FM"または"AM"を選ぶ

[スロー/サーチ ◀◀ ▶▶] 押して
FM ： 76.0、AM ： 522 に合わせる

[決定] "FM AUTO" または "AM AUTO" が表示されるまで
押し続ける

受信した放送局を順に記憶していきます。
終了すると、"SET OK" と表示したあと、最後に受信した放送局を表示します。
- 前に記憶させたチャンネルは上書きされます。

■ "ERROR" と表示したら

電波が弱いなどの原因で記憶できませんでした。
手動で行ってください。(➡ 25 ページ)

BS デジタル放送を楽しむ

手動で記憶させるには

ラジオ/バンド 押して
“FM”または“AM”を選ぶ

スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ 押して
好みの放送局を受信する

決定 **押す**

チャンネル ∧ ∨ “PGM” 点滅中、押して
チャンネルを選ぶ

CH 1 PGM

決定 **押す**

記憶させた放送局を聞く

[ラジオ/バンド] を押して、“FM” または “AM” を選ぶ。

チャンネル ∧ ∨ 押して
チャンネルを選ぶ

CH 2 PGM

■ 数字ボタンでも選べます

2 ケタ数字の入力
例) 12: [≧10] → [1] → [2]



■ 現在の受信を確認するには

[表示切換] を押す

お知らせ

- AAC で送られてきた二カ国語放送を受信しているときは、以下の効果は効きません。
  ドルビープロロジック/SFC/スーパーサラウンド
- テレビとは別に BS デジタルハイビジョンチューナーなどを接続されている場合は、本機のリモコンで操作できないものもあります。

BS デジタルチューナーを光デジタルケーブルで接続して、AAC で圧縮された BS デジタル放送の音声を楽しむことができます。

操作の前に！

- リモコンの [BS デジタル] を押す。
- 当社製のテレビに内蔵されている BS チューナーをお使いのときは、本機のリモコンで操作できます。(➡ 29 ページ)

お好みのチャンネルを選ぶ

音量 ＋ − 押して
音量を調整する
−− dB (最小) ◢ 0dB (最大)

■ 二カ国語放送の切り換え

音声信号 (AAC/PCM) の切り換えは、BS デジタルチューナー側で操作してください。
AAC で送られてきた、または BS チューナー側で AAC に変換された二カ国語放送は下記の操作で音声切り換えができます。

FM/BSモード 初期設定 **押す**

MAIN ONLY

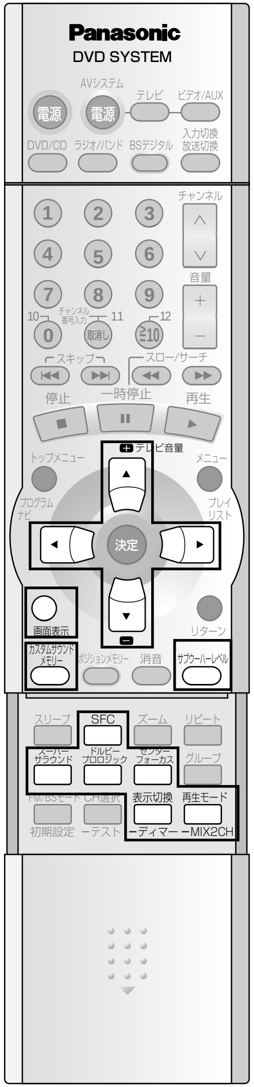
押すたびに
MAIN ONLY → SUB ONLY
↑ ↓
MAIN/SUB ← MIX

MAIN ONLY	:主音声のみを出力
SUB ONLY	:副音声のみを出力
MIX	:主音声と副音声を合わせて、モノラルとして音声出力
MAIN/SUB	:主音声と副音声を出力

■ 表示窓に “C_ONLY” と表示されたら

センターチャンネルのみの放送を受信しています

音質音場効果を楽しむ



ドルビーデジタル、DTS

（ドルビーデジタル、DTS で記録されたディスク）
再生を始めると自動判別します。

DTS ⊡DIGITAL — ドルビーデジタル
└ DTS

● スピーカーの出力レベルを調整するには（➡ 33 ページ）

ドルビープロロジック

（ドルビーサラウンドで記録されたソース）
臨場感あるサラウンドサウンドで楽しめます。

ドルビープロロジック **押す** （⊡PL）

解除するには、もう一度押す
● ドルビーデジタルで記録されたマルチチャンネル時には、働きません。
● スピーカーの出力レベルを調整するには（➡ 33 ページ）

サブウーハーの低音を調整

サブウーハーレベル **押す** **SUB W 2**

押すたびに
SUB W 1 → SUB W 2 → SUB W 3 → SUB W 4（お買い上げ時）→ SUB W 1

数字が大きくなるほど効果が大きくなります。

SFC（サウンドフィールドコントロール）

下記のようなさまざまな効果を楽しめます。

SFC **押す** （SFC）

押すたびに
HEAVY ：ロックなど。パンチを効かせます。
CLEAR ：ジャズなど。高音部を鮮明にします。
SOFT ： BGM など。ソフトな音にします。
DISCO ：ディスコのような長い残響音があります。
LIVE ：ボーカルにつやを出します。
HALL ：大ホールのような音の広がりを与えます。
FLAT（お買い上げ時）：SFC 効果を使わない状態に戻ります。

■ 現在の効果を確認するには

[SFC] を押す

スーパーサラウンド

ステレオ音声にサラウンド効果を付けることができます。

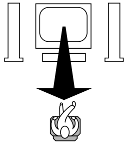
スーパーサラウンド **押す** （SSS）

押すたびに
MUSIC（音楽）→ MOVIE（映画）→ OFF（切）→ MUSIC（音楽）

● “MUSIC” または “MOVIE” のとき、“MIX 2ch” の切り換えはできません。
● スーパーサラウンドを「入」にするとドルビープロロジックは「切」になります。
● サラウンドスピーカーの出力レベルを調整するには（➡ 33 ページ）

センターフォーカス

（ドルビーデジタル、DTS、AAC で記録され、センターチャンネルに音声が入っているソース、または、ドルビープロロジック「入」のとき）



センタースピーカーから聞こえる音声をテレビ画面の中央に集めることにより、テレビ画面の中から音声が聞こえてくるかのようにします。

センターフォーカス　**押す**　C.F

押すたびに
CENTER FOCUS1 → CENTER FOCUS2
（標準）　（効果大）
└── OFF（切）←──┘

- 2 を選ぶと、小さい音量でも会話がはっきり聞こえるようになります。
- スーパーサラウンドが「入」のときは選べません。
- ドルビープロロジックが「入」のときは適切な効果が得られない場合があります。

音声を 2ch にまとめる

サラウンド効果を出さずに静かに聞きたい深夜など、ドルビーデジタルなどの 5.1ch の音声を 2ch にまとめて、フロントスピーカーから出力させることができます。

再生モード　−MIX2CH　**押し続ける**　MIX2ch　ON
"MIX2ch ON" と表示されます

解除（OFF）するには、もう一度押し続ける

■ 状態を確認するには

[表示切換] を押す

■ "D.MIX" が点滅したら

再生中の DVD オーディオがダウンミックスできないマルチチャンネルで記録されています。

お知らせ

次の場合は "MIX 2ch" を「入」にできません。
- ヘッドホンを接続している
- ドルビープロロジックが「入」になっている
- スーパーサラウンドが「入」になっている

好みの設定を記憶させる
（カスタムサウンドメモリー）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

下記設定をディスクごとに記憶させ、次回ディスクを再生したときに、自動的に設定を呼び出します。
記憶できるディスク数：30 枚
記憶できる設定：ドルビープロロジック
：サブウーハーレベル
：SFC
：スーパーサラウンド
：センターフォーカス

■ 記憶させる

お好みの設定を行う

カスタムサウンドメモリー　**押し続ける**　CSM
"CSM" と表示されます

■ 呼び出す

記憶させたディスクを入れて再生すると、自動的に設定が呼び出されます。

- 設定を記憶しなおすと、新しい設定が上書きされます。
- "CSM" 点灯中、[カスタムサウンドメモリー] を押すと、"CSM" は消灯し呼び出す前の設定に戻ります。
- "CSM" 消灯中、[カスタムサウンドメモリー] を押すと "CSM" は点灯し、設定を記憶させたディスクでは、設定を呼び出します。
- 31 枚を超えると、古いものから順に消去されます。

より自然な音質で聞く（リマスター）

RAM　DVD-A　DVD-V　CD

LPCM 2ch で、44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク

ディスクに記録されていない高いサンプリング周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。

WMA　MP3

44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク

圧縮時に失われたサンプリング周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

画面表示　再生中、数回押して
本機情報画面の音声設定を出す
（➡ 23 ページ）

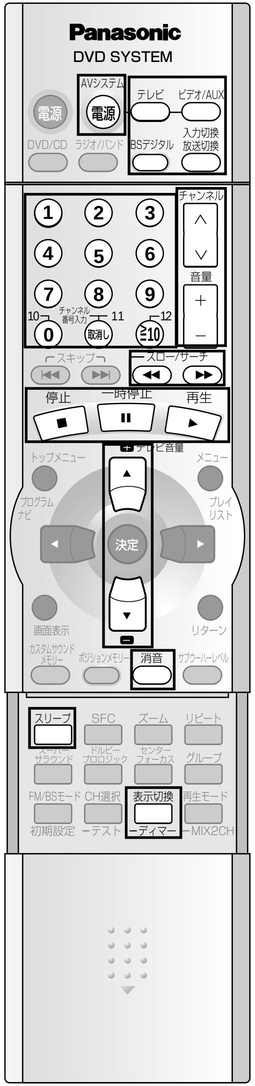
◀ ▶　押して
下記アイコンを選ぶ
例）1/96kHz
サンプリング周波数

▲ ▼　**押す**

押すたびに設定が下記のように切り換わります

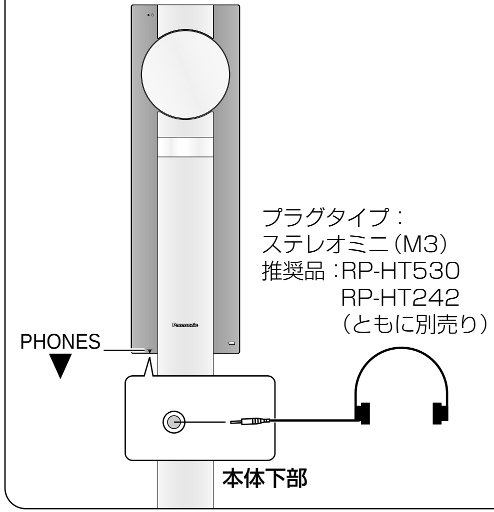
設定	RAM DVD-A DVD-V CD 音源に適した設定を選択	WMA MP3 効果の強弱を選択
1	テンポの早い曲 （ポップス、ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲 （ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲 （クラシックなど）	強
切	切	切

便利な機能



ヘッドホンを使う

まず、音量を下げる！



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- 接続すると、強制的に“MIX 2ch”になります。
- ドルビープロロジックやスーパーサラウンド、センターフォーカス、サブウーハーレベルの各効果は働きません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

一時的に音を消す（消音）

電話がかかってきたときなどに便利です。

消音 **押す**

MUTING

解除するには
- もう一度押す
- ［音量］を“-- dB”にしてから上げる
- 電源を「切」「入」する

指定した時間に電源を切る（スリープ）

スリープ **押す**

SLEEP 30

SLEEP

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF

（単位：分）

解除するには
- ［スリープ］を押して“SLEEP OFF”を選ぶ。
- 電源を「切」「入」する

■ 残り時間を確かめるには

［スリープ］を 1 回押す。

表示窓を暗くする（ディマー）

映画を見るときなどに便利です。

表示切換 —ディマー— **押し続ける**
表示窓が暗くなります。

解除するには
- もう一度押し続ける
- 電源を「切」「入」する

テレビやビデオを楽しむ

接続は別冊の設置接続編をご覧ください。

当社製テレビやビデオデッキの基本操作ができます。テレビやビデオデッキに付属の取扱説明書もご覧ください。
一部の機種では操作できないものや、下記のとおりに操作できないものもあります。その場合は、各機器に付属しているリモコンをお使いください。

テレビを操作する

以下のことができます。
- 電源「入」「切」
- ビデオ入力切り換え
- チャンネル切り換え
- 音量調整

操作の前に！

本体に向け、［テレビ］を押す。
下記の操作は、テレビに向けて行う。

電源の「入」「切」

AVシステム 電源 **押す**

ビデオ入力切り換え

入力切換 放送切換 **押す**

チャンネル切り換え

チャンネル ∧ ∨ **押す**

数字ボタンでも選べます。

音量調整

＋ テレビ音量 ▲ ▼ − **押す**

BS チューナー（テレビに内蔵）を操作する

以下のことができます。
- 放送切り換え
- チャンネル切り換え

操作の前に！

テレビの電源を入れる。
本体に向け、［BS デジタル］を押す。
下記の操作は、テレビに向けて行う。

放送切り換え

入力切換 放送切換 **押す**

押すたびに
BS → CS1 → CS2
↑── 地上波 ←─┘

チャンネル切り換え

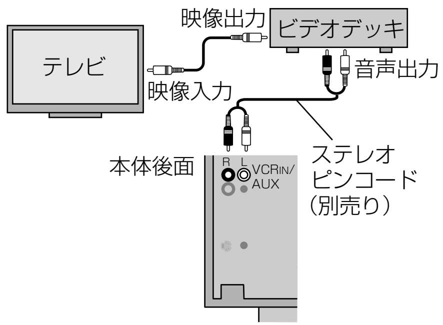
チャンネル ∧ ∨ **押す**

数字ボタンでも選べます。
　プリセットされたチャンネル：数字ボタン
　直接チャンネルを入力する：
　　［チャンネル番号入力］→数字ボタン

お知らせ

- テレビとは別に、単品の BS デジタルハイビジョンチューナーを接続されている場合は、本機のリモコンでは操作できません。

ビデオデッキを操作する



以下のことができます。
- 電源「入」「切」
- 早送り、早戻し
- 再生、停止、一時停止

操作の前に！

接続に応じてテレビ側の入力を切り換える。
本体に向け、［ビデオ/ AUX］を押す。
下記の操作は、ビデオデッキに向けて行う。

電源の「入」「切」

AVシステム 電源 **押す**

停止、一時停止、再生

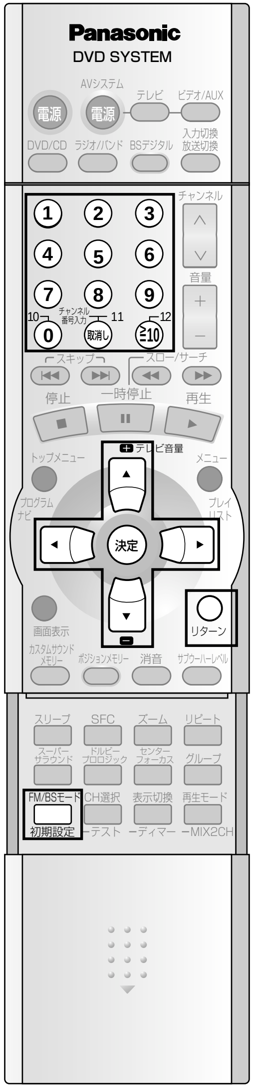
停止 ■ **押す**　一時停止 ❚❚ **押す**　再生 ▶ **押す**

早送り、早戻し

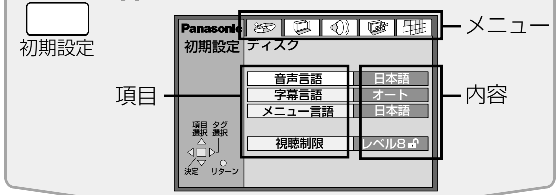
スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ **押す**

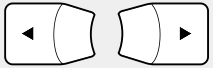
初期設定を変える

日本語 のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

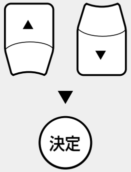


FM/BSモード **押す**



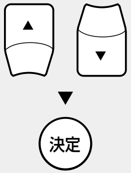


押して
メニューを選ぶ



押して
項目を選び

押す

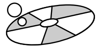


押して
内容を選び

押す

■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン] を押す

■ 設定を終了するには
[初期設定] を押す



ディスク

音声言語
言語（音声）が選べます。
- **日本語**　● 英語
- オリジナル※1　● その他＊＊＊＊※2

字幕言語
言語（字幕）が選べます。
- **オート**※3　● 日本語
- 英語　● その他＊＊＊＊※2

メニュー言語
メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。
- **日本語**　● 英語　● その他＊＊＊＊※2

視聴制限
お子さまなどに見せたくないDVDの視聴を制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
- **レベル８**：すべてのディスクが再生可
- レベル７～１：制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- レベル０：すべてのディスクが再生不可

レベル０から７を選ぶ、または選んだあと再び "視聴制限" の項目を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。(➡ 31 ページ)

※1 "オリジナル"：ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 "その他＊＊＊＊"：数字ボタンで言語番号 (➡ 32 ページ) を入力します。
※3 "オート"："音声言語で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

映像

TV アスペクト
テレビサイズに合った画面表示方法が選べます。
- **●4 ： 3 パン&スキャン**
- ●4 ： 3 レターボックス
- ●16 ： 9

接続する TV
接続したテレビの種類に合わせて設定します。
- **●標準（ブラウン管テレビ）**
- ●3 管式プロジェクター
- ●液晶テレビ/プロジェクター
- ●プロジェクションテレビ
- ●プラズマテレビ

スチルモード
一時停止時の画像表示方法が選べます。
●オート　●フィールド　●フレーム

フレームとフィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



- ●フレームスチルのときは、画質は良くなりますが、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがあります。
- ●フィールドスチルのときは、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

音声

スピーカー設定
ディレイタイム (➡ 32 ページ) を調整することで、理想的な音空間を創ります。
- **●マルチチャンネル**

音声のダイナミックレンジ圧縮
（ドルビーデジタルのみ）
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
●切　●入

早送り時の音声
早送りする時、音声のあり/なしが選べます。
●あり　●なし

DVD-A
「なし」にしても音声が聞こえるものがあります。

画面表示

画面メニュー言語
初期設定画面の言語や操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。
●日本語　●English (英語)

画面メッセージ
操作時の表示をテレビ画面に表示する/しないが選べます。
●入　●切

その他

DVD ビデオモード
(DVD ビデオとして再生できる DVD オーディオディスク)
DVD オーディオに収録された映像の再生方法を選びます。
(電源を切る、セレクターを切り換える、またはトレイを開けると「しない」に戻ります。)
- **●しない** :ディスクを DVD オーディオとして再生
- ●する :ディスクを DVD ビデオとして再生

クイックセットアップ
本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行います。
●する　**●しない**

暗証番号の入力方法



1. **数字ボタン**で 4 ケタの数字を入力する
   - ●**[取消し]** を押すと、数字を取消すことができます。
2. **[決定]** を押す
3. 暗証番号を確認し、**[決定]** を押す。
   暗証番号は忘れないでください。

視聴制限を超える DVD を入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

初期設定を変える（つづき）

ディレイタイムの調整

マルチャンネルで記録されたディスク

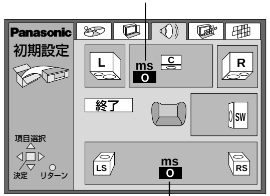
5.1ch 音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーハーは除く）を下記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え、仮想的に理想の視聴位置を実現します。

操作の前に！

“スピーカー設定” を選び、[決定] を押す

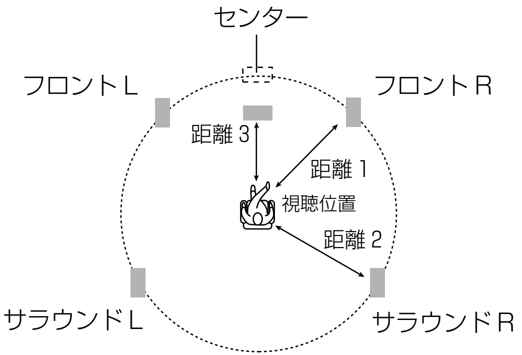
1. [▲、▼] を押して項目を選び、[決定] を押す。

センターのディレイタイム



サラウンドのディレイタイム

2. [▲、▼] で数値を変更し、[決定] を押す。
3. 変更が終わったら [◀] で “終了” を選び、[決定] を押す。



距離 1 ：フロントからの距離
距離 2 ：サラウンドからの距離
距離 3 ：センターからの距離

センターのディレイタイム

距離 1≦ 距離 3 ： 0 ms
距離 1＞ 距離 3 ：下記の設定

距離の差	設定値
約 50 cm のとき	1.3 ms
約 100 cm のとき	2.6 ms
約 150 cm のとき	3.9 ms
約 200 cm のとき	5.3 ms

サラウンドのディレイタイム

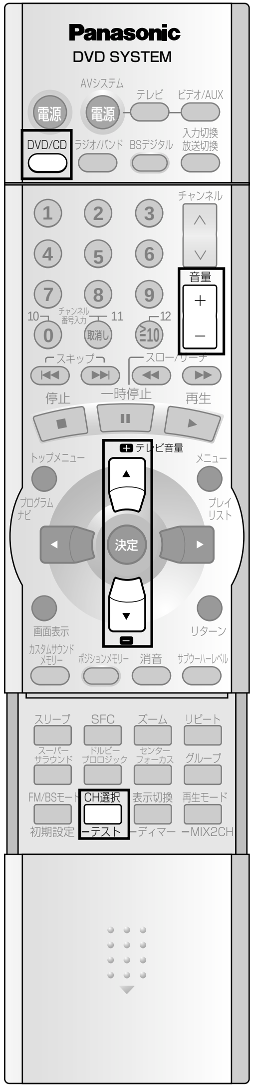
距離 1≦ 距離 2 ： 0 ms
距離 1＞ 距離 2 ：下記の設定

距離の差	設定値
約 200 cm のとき	5.3 ms
約 400 cm のとき	10.6 ms
約 600 cm のとき	15.9 ms

言語番号一覧表

アイスランド	7383	韓国（朝鮮）語	7579	タイ	8472	フェロー	7079
アイマラ	6588	カンナダ	7578	タタール	8484	フランス	7082
アイルランド	7165	カンボジア	7577	タミル	8465	フリジア	7089
アゼルバイジャン	6590	キルギス	7589	タガログ	8476	ブータン	6890
アッサム	6583	ギリシャ	6976	タジク	8471	ブルガリア	6671
アファル	6565	クルド	7585	チェコ	6783	ブルターニュ	6682
アフリカーンス	6570	クロアチア	7282	中国語	9072	ヘブライ	7387
アブハジア	6566	グアラニー	7178	チベット	6679	ベトナム	8673
アムハラ	6577	グジャラト	7185	ティグリニア	8473	ベロルシア（白ロシア）	6669
アラビア	6582	グリーンランド	7576	テルグ	8469	ベンガル（バングラ）	6678
アルバニア	8381	グルジア	7565	デンマーク	6865	ペルシャ	7065
アルメニア	7289	ケチュア	8185	トウイ	8487	ポーランド	8076
イタリア	7384	ゲール（スコットランド）	7168	トルクメン	8475	ポルトガル	8084
イディッシュ	7473	コーサ	8872	トルコ	8482	マオリ	7773
インターリングア	7365	コルシカ	6779	トンガ	8479	マケドニア	7775
インドネシア	7378	サモア	8377	ドイツ	6869	マライ（マレー）	7783
ウェールズ	6789	サンスクリット	8365	ナウル	7865	マラッタ	7782
ウォロフ	8779	ショナ	8378	日本語	7465	マラヤーラム	7776
ヴォラピュック	8679	シンド	8368	ネパール	7869	マルタ	7784
ウクライナ	8575	シンハラ	8373	ノルウェー	7879	マダガスカル	7771
ウズベク	8590	ジャワ	7487	ハウサ	7265	モルダビア	7779
ウルドゥー	8582	スウェーデン	8386	ハンガリー	7285	モンゴル	7778
英語	6978	スロバキア	8375	バシキール	6665	ヨルバ	8979
エストニア	6984	スロベニア	8376	バスク	6985	ラオ	7679
エスペラント	6979	スワヒリ	8387	パシュト	8083	ラテン	7665
オーリヤ	7982	スンダ	8385	パンジャブ	8065	ラトビア（レット）	7686
オランダ	7876	スペイン	6983	ヒンディー	7273	リトアニア	7684
カザフ	7575	ズールー	9085	ビハール	6672	リンガラ	7678
カシミール	7583	セルビア	8382	ビルマ	7789	ルーマニア	8279
カタロニア	6765	セルボクロアチア	8372	フィジー	7074	レトロマンス	8277
ガリチア	7176	ソマリ	8379	フィンランド	7073	ロシア	8285

スピーカーの出力レベル調整



ドルビーデジタル、DTS、AAC、ドルビープロロジック時：
視聴する位置で、各スピーカーからの出力が同じ音量になるように調整します。
テスト信号を使うと、サブウーハーを除く各スピーカーの調整ができます。（セレクターは "DVD/CD" で行います。）
ソース再生時には、サブウーハーを含む各スピーカーの調整ができます。（各セレクターで可能です。）
スーパーサラウンド時：
ソース再生時に、サラウンドスピーカーのレベルを好みに応じて調整します。

テスト信号を使って調整する

操作の前に！

- [DVD/CD] を押す。
- スーパーサラウンド：切 (➡ 26 ページ)

CH選択 ーテスト

押し続ける
テスト信号が出力されます。

出力順序
L ：フロント左スピーカー
C ：センタースピーカー
R ：フロント右スピーカー
RS ：サラウンド右スピーカー
LS ：サラウンド左スピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

音量 ＋ −

押して
通常聞く音量にする

▲ ▼

押して
各スピーカーの出力レベルが同じになるように調整する

CH選択 ーテスト

押し続ける
テスト信号が止まります。

再生中に調整する

CH選択 ーテスト

押して
スピーカーを選ぶ

（ドルビーデジタル、DTS、AAC、ドルビープロロジック時）
- スーパーサラウンド：切 (➡ 26 ページ)

押すたびに
L → C → R
↑　　　　↓
SW ← LS ← RS

（スーパーサラウンド時）
S

音量 ＋ −

押して
調整する

調整範囲
L, R ：−16 dB ～ 0 dB
C, RS, LS, S ：−10 dB ～＋6 dB
SW ：−10 dB ～ +10 dB

ディスクについて

ジャケット上のマークについて

イラストは例です。

<画面サイズ（横：縦）>

4:3
- 標準（4:3）サイズ

LB
- レターボックス
  4:3 で上下に黒帯が入った画面

16:9 LB
- ワイド（16:9）サイズ
  標準（4:3）サイズのテレビではレターボックスで再生

16:9 PS
- ワイド（16:9）サイズ
  標準（4:3）サイズのテレビではパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

<記録されている音声の種類>

DOLBY DIGITAL

ドルビーデジタル/ドルビーデジタルサラウンド EX
左記ロゴの付いたディスクの音声を再生できます。ただし、ドルビーデジタルサラウンド EX の音声は 5.1ch として出力されます。

DIGITAL dts SURROUND

DTS デジタルサラウンド/DTS-ES マトリックス 6.1ch
左記ロゴの付いたディスクの音声を再生できます。ただし、DTS-ES マトリックス 6.1ch の音声は 5.1ch として出力されます。

dts ES 6.1 Discrete

DTS-ES ディスクリート 6.1ch
左記ロゴの付いたディスクの音声を再生できます。ただし、5.1ch として出力されます。

<その他>

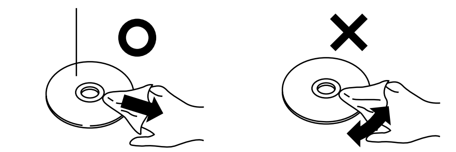
音声数　字幕数　アングル数



ディスクの扱い

■汚れたときは

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD、CD
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス（品番 VUA7091）（サービスルート扱い）



DVD-RAM、DVD-R
- 必ず専用の **DVD-RAM/PD ディスククリーナー LF-K200DCJ1（別売り）、RFKZ0093（サービスルート扱い）**でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布や CD 用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
DVD-RAM、DVD-R は専用のクリーナー（上記）でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 再生面には手を触れない。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は当社製のものをお使いください。（当社製以外のディスクを使うと、機器の故障の原因となることがあります。）
- ハート型など、特殊形状のディスクは使わない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

■保管

次のような場所に置かないでください
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Q&A（よくあるご質問）

	質問	回答
他機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	フォノイコライザー内蔵のプレーヤーを後面の VCR IN/AUX 端子に接続する必要があります。内蔵でない場合は、フォノイコライザー（サービスルート扱い　品番： RFKZ0088KIT）が必要です。そのまま接続すると音が小さくなります。
	有線放送をつなぎたい	後面の VCR IN/AUX 端子に接続します。
	他のスピーカーをつなぎたい	**付属のスピーカー以外はご使用になれません。** 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど正しい特性の音が得られません。
	BS/CS チューナーを接続したが、音が小さい	BS/CS チューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。
	MD と接続して録音できるか	本機には音声出力端子がありません。本機と MD とを接続して録音することはできません。
操作	海外で購入した DVD などのビデオディスクを再生したい	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご覧ください。
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD のリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD は再生できません。
	ビデオデッキで録画できるか	本機には音声出力端子がありません。また、ほとんどの DVD は、コピー禁止処理がされており録画できません。
	CD-G は再生できるか	再生できません。
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、テレビ側は DVD 対応の D 映像端子に接続することをお薦めします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ端子には接続しないでください。
	S 映像端子も D 映像端子もあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	D 映像端子に接続すると、テレビ側は DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S1 映像端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。
その他	スピーカーは防磁設計か	防磁設計です。(➡ 下記)
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。

防磁設計について

- 本システムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA*）ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。
その場合は、一度テレビの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本システムのスピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

*「防磁設計（JEITA）」とは、（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

困ったときは

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
操作	電源が入らない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 システムケーブルが正しく接続されていますか。	設置接続編
	音がでない	消音になっていませんか。	28
		正しく接続されていますか。	設置接続編
	音の位置が定まらない	スピーカーコードが正しく接続されていますか。	設置接続編
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る	電気器具の電源コードや蛍光灯がサブウーハーの近くにある場合は離してください。	−
	演奏中に音が出なくなった	スピーカーコードがショートしていませんか。 いったん電源を切り、接続を確認してから電源を入れてください。	−
	表示窓が暗い	リモコンの[−ディマー]を押し続けてディマーを解除してください。	28
	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	−
		落雷や静電気などの影響により、正常に動作しない場合があります。電源を一度、「切」「入」してください。	−
		リモコン操作モード（DVD/CD、ラジオ/バンドなど）によって使えるボタンが異なります。	−
	リモコンが働かない	乾電池は⊕ ⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
	[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない（またはすぐに停止する）	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。	−
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	10
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	34
		ディスクを正しく入れてください。	12
		記録済みのディスクが入っているか確認してください。	−
		初期設定「視聴制限」の設定を確認してください。	30

こんなときは		ここをお確かめください	参照ページ
操作	音声/字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。 ディスクによってはメインメニューに戻らないと切り換えられないものがあります。	–
	字幕がでない	字幕の入っていないディスクでは、字幕が表示されません。	–
		字幕が「切」になっている場合は、「入」にしてください。	15
		A-B リピート再生の A 点、B 点やマーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	–
	字幕の位置がおかしい	GUI 画面の「表示設定」の “字幕位置移動” で字幕位置を調整してください。	23
	アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場所でのみ切り換えることができます。	–
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた 初期設定の内容をお買い上げ時に戻したい	以下の操作で初期設定の内容をお買い上げ時に戻してください。 1. セレクターが “DVD/CD” で、停止中に、本体の [■] を押しながらリモコンの [≧10] を押す （テレビ画面に「オールクリア」表示が出て、お買い上げ状態に戻ると消えます。） 2. 電源を「切」「入」する	–
	タイトルが＿（アンダーバー）と表示される	表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外は、“＿” と表示されます。	–
	マーカーが付けられない	プレイリスト再生中や再生経過時間が表示されない場合は付けられません。	–
	再生が始まるのに時間がかかる	ディスクによっては、映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。	–
	本機のリモコンでテレビやビデオの電源が入らない	リモコン操作モードが違っていることが考えられます。[テレビ] または [ビデオ/AUX] を押してから操作してください。	–
	DVD-RAM で、マーカーを付けた番号と呼び出す番号が異なる	マーカー番号は、ディスクの時間経過順に並べかえられます。 追加や取消しを行うと異なることがあります。	–
	DVD-RAM で、マーカーが初めから付いている	DVD ビデオレコーダーなどで付けたマーカーは表示されます。取消すことはできますが、電源を切る、セレクターを切り換える、またはトレイを開けると再び表示します。	–
	ランダム再生やプログラム再生ができない	ランダム再生やプログラム再生できない DVD ビデオもあります。	–
	8 階層より深い WMA/MP3 のフォルダが正確に表示されない	8 階層より深い階層にあるフォルダは 8 階層目と同じ列に表示されます。	–

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	–
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	設置接続編
		テレビの電源は入っていますか。または、テレビの入力切り換えは正しいですか。	–
		初期設定の「TV アスペクト」は正しく設定されていますか。	11
		テレビ側の画面モードを変更してください。	–
		ズーム機能で調整してください。	18
		GUI 画面の「表示設定」“4:3 アスペクト”で表示サイズを調整してください。 ただし、PAL 方式の DVD オーディオでは働きません。	23
		PAL 方式の DVD オーディオは、縮小して表示されます。また、上下に引き延ばされた画面になることがあります。	–
	プログレッシブ出力（525P）時、映像の一部が二重にぶれて見える	[PROGRESSIVE OUT] を押して、“PROGRESSIVE”表示を消してください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース（525I）では問題なく再生できます。	12
	画質がよくないまたは色がおかしい	GUI 画面「画質設定」で画質を調整してください。 ただし、PAL 方式の DVD オーディオでは、“U1”の設定は働きません。	22
	ビデオ CD でコマ戻し、戻り方向のスロー再生戻り方向ができない	ビデオ CD ではできません。	–
	DVD-RAM で番組の頭にスキップされない	DVD-RAM では、マーカーが記録されていたらマーカー位置へ、プレイリスト再生中は、シーンの開始点まで飛び越します。コマーシャルなどが録画されると、そこにスキップすることがあります。	–
	テレビ画面に障害がでる	携帯電話などの充電器が近くにあると、雑音が発生する場合があります。	–
		本体とテレビの距離を離してみてください。本体やテレビで室内の簡易アンテナを使用している場合は、屋外アンテナを使うのも 1 つの方法です。	設置接続編

	こんなときは		ここをお確かめください	参照ページ
映像	メニュー画面が正しく表示されない	▶	ズーム倍率を “× 1.00” にしてください。	18
			GUI 画面の「表示設定」“字幕位置移動” を “0”、または “4：3 アスペクト” を “ノーマル” にしてください。	23
表示	GUI 画面が欠ける（または表示されない）	▶	GUI 画面表示中、カーソルボタン［◀、▶］を押して右側の矢印アイコンを選び、［▲、▼］を押して上下に移動させてください。	21
	画面メッセージがでない	▶	初期設定「画面メッセージ」を「入」にしてください。	31
	“⃠” が表示される	▶	ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。	–
	“CLOSE ERR” が点滅し、トレイが開く	▶	ディスクが正しくセットされていません。8 cm ディスクが正しくセットされているか、トレイの開口部に何かものをはさんでいないか確認してください。	12
音声	ラジオ放送で雑音やひずみが多い	▶	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。 AM ループアンテナを本体やテレビから離してください。 テレビの電源を切ってみてください。 送信所が遠い、または近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	設置接続編
	ダイアログエンハンサーがきかない	▶	速度変換モード中は働きません。	23
	ディスクの読み込みに時間がかかる	▶	DVD-RAM やセッション数の多い WMA/MP3 のディスクでは再生が始まるまでに時間がかかることがあります。	–

お手入れ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お知らせ

- 使用環境により異なりますが、レンズをクリーニングする必要はありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

用語解説

AAC（Advanced Audio Coding）

BS デジタル放送などに用いられる音声圧縮方式のひとつです。

I/P/B

DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture： 共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture： 過去の I-picture、または P-picture を元につくられるフレーム

B-picture： I/P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-picture の画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-picture で一時停止することをおすすめします。

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号（NTSC）は 525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その 525I 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。

WMA（Windows Media™ Audio）

米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

S1 映像出力

映像信号カラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

MP3（MPEG Audio Layer 3）

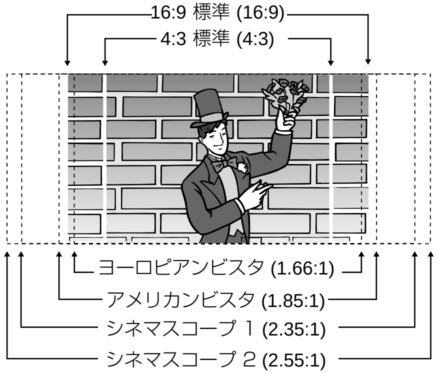
元の音質をあまり損なうことなく音声を 10 分の 1 程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

スクリーンサイズ

映画には以下のような横縦比があります。
本機のズーム機能（➡ 18 ページ）を使ってお使いのテレビ画面サイズに近づけることができます。



ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

チャンネル（ch）

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。

例）5.1 チャンネル

- フロントスピーカー［L（1 ch）/ R（1 ch）］
- センタースピーカー（1 ch）
- サラウンドスピーカー［L（1 ch）/ R（1 ch）］
- LFE（Low Frequency Effects）
  低域強調チャンネル［1 ch × 0.1※＝ 0.1 ch］

※低域のみの出力なので 1ch に対して 0.1ch と表現

GUI 画面では以下のように示されます。

3 / 2 .1

.1：LFE あり
（LFE がない場合は、表示されません）

0：サラウンド信号なし
1：サラウンド信号（モノラル）あり
2：サラウンド信号（ステレオ）あり

1：センター
2：フロント（L/R）
3：センター＋フロント（L/R）

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

ドルビーサラウンドで記録された信号を、演算処理により再び 4 チャンネルの独立した信号で再生するサラウンドシステムです。

DTS（Digital Theater Systems）

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

D 映像出力

S 映像よりもさらに鮮明な、コンポーネント映像と同等の映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I 信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

フィルム素材／ビデオ素材

一般的に、DVD ソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVD ソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが 24 コマ/秒で記録されているもの。（映画撮影で使われるフィルムには、24 コマ/秒で画像が記録されています。）
  最近では、30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。
- **ビデオ素材**
  映像が 30 コマ/秒で記録されているもの。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD を再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

PPCM（パック PCM）

ひずみなく圧縮し、デジタルに置き換えられた音声信号です。

リニア PCM（LPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

主な仕様

■パワーアンプ部

実用最大出力　総合出力 310 W
1 kHz(全高調波ひずみ率 10 %)
　フロント　30 W × 2(6 Ω)
　センター　54 W(6 Ω)
　サラウンド　38 W × 2(6 Ω)
100 Hz(全高調波ひずみ率 10%)
　サブウーハー　120 W(6 Ω)

■プリアンプ部

入力感度/入力インピーダンス
　VCR/AUX　350 mV, 10 kΩ
　TV　350 mV, 10 kΩ

■ FM チューナー部

受信周波数帯域
　76.0 ～ 90.0 MHz(100 kHz ステップ)
アンテナ端子　75 Ω不平衡

■ AM チューナー部

受信周波数帯域
　522 ～ 1629 kHz（9kHz ステップ）

■ DVD/CD 部

ピックアップ
　光源　半導体レーザー
　波長　CD/VCD : 790 nm
　　DVD : 658 nm
再生可能ディスクタイプ
- DVD オーディオ　● DVD ビデオ
- DVD-RAM/R(DVD ビデオ規格準拠)
- CD(CD-DA)　● ビデオ CD
- CD-R/RW
  (CD-DA、ビデオ CD、WMA、MP3 フォーマット)

オーディオ
　チャンネル数　5.1 チャンネル
　(FL、FR、C、SL、SR、SW)
ビデオ
　方式　NTSC
　出力端子　RCA ピン端子(コンポジット)
　S 端子(Y、C)
　D 端子(D1/D2)

■総合

電源　AC 100 V 50/60 Hz
消費電力　100 W

電源スタンバイ時の消費電力	約 0.4 W

■本体

SA-ST1

寸法(幅×高さ×奥行き)
　250 × 1,063 × 250 mm
　(スタンド・ベース部含む)
質量　約 7.4 kg(スタンド・ベース部含む)

■スピーカー部

SB-FS901

型式
　1 ウェイ 1 スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー
　フルレンジ　6.5 cm コーンタイプ
インピーダンス　6 Ω
許容入力　60 W(Music)
出力音圧レベル　79 dB/W(1.0 m)
再生周波数帯域　85 Hz ～ 25 kHz(−16 dB)
　90 Hz ～ 22 kHz(−10 dB)
寸法(幅×高さ×奥行き)
　250 × 1,061.5 × 250 mm
　(スタンド・ベース部含む)
質量　約 4.1 kg(スタンド・ベース部含む)

SB-PC51

型式
　2 ウェイ 3 スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー
　ウーハー　5 cm コーンタイプ× 2
　ツィーター　2.5 cm セミドームタイプ
インピーダンス　6 Ω
許容入力　60 W(Music)
出力音圧レベル　81 dB/W(1.0 m)
クロスオーバー周波数　5 kHz
再生周波数帯域　85 Hz ～ 25 kHz(−16 dB)
　120 Hz ～ 22 kHz(−10 dB)
寸法(幅×高さ×奥行き)
　430 × 64 × 100 mm
質量　約 1.15 kg

SB-WA300

型式
　1 ウェイ 1 スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー
　アクティブサブウーハー　17cm コーンタイプ
インピーダンス　6 Ω
許容入力　200 W(Music)
出力音圧レベル　80 dB/W(1.0 m)
再生周波数帯域　40 Hz ～ 220 Hz(−16 dB)
　45 Hz ～ 180 Hz(−10 dB)
寸法（幅×高さ×奥行き）
　160 × 457 × 424 mm
質量　約 10.8 kg(アンプ部含む)

注) 1. この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　2. 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

高調波ガイドライン適合品

プログレッシブ対応テレビ一覧

テレビタイプ	品番(TH-)				
BS デジタル ハイビジョン	36DH200 36D10 28D30	36DH100 32D100 28D20	36D100 32D30 28D10	36D30 32D20	36D20 32D10
ハイビジョン	36FH10 32HG1	36FH1 28HW3	36HG1 28HW2	32FH10	32FH1
プログレッシブ ワイド	36FP50 36FP15 32FP15 28FP25	36FP30 32FP50 32FP10 28FP20	36FP25 32FP30 32FS10 28FP15	36FP10 32FP25 28FP50 28FS10	36FP20 32FP20 28FP30
プログレッシブ	33FP2	29FP5	29FP3	29FP2	
DVD ビデオ内蔵 ワイド液晶	15DT2	15DTX1	15LV1		
ワイド液晶	22LT1	15LT1			
4 : 3 液晶	14TA3	20TA3	17TA3		
プラズマ ディスプレイ	50PXS10 42PD2 42PM50 42PAS10	42PXS10 37PD10 42PM30 37PAS10	42PX10 37PD2 42PM20	50PH50 42PM2 37PM50	50PHD3 37PM2 37PM20
リア プロジェクター	48FH10	47FP10			
液晶 プロジェクター	AE300	AE200	AE100		

(2002 年 9 月現在/当社製テレビのみ)
他社の対応テレビについては、該当メーカーに、「DVD プログレッシブ出力のコピーガードシステム(マクロビジョン方式)に対応している 525P 映像入力端子が付いているか」をご確認ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

■ 保証書 （別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、DVD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

36 ～ 39 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	DVD システム
品　番	SC-ST1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

0902

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

さくいん

PRINTED WITH SOY INK ™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　長年ご使用の DVD システムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

品番	SC-ST1	お買い上げ日	年　月　日	販 売 店 名	☎（　　）　―	お 客 様 ご相談窓口	☎（　　）　―

松下電器産業株式会社　AVC ネットワーク事業グループ
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT6706-S
H1002HM1102

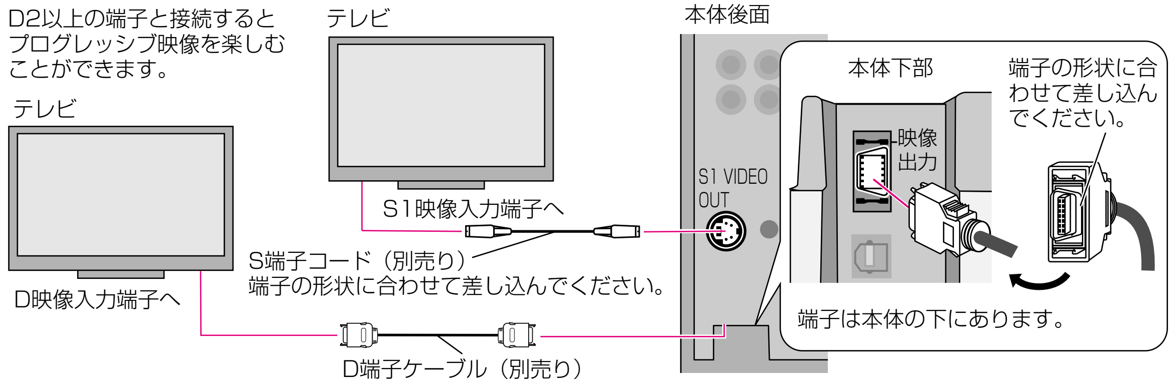
システムアップ

よりよい映像を楽しむ

●D映像入力端子に接続

D2以上の端子と接続するとプログレッシブ映像を楽しむことができます。

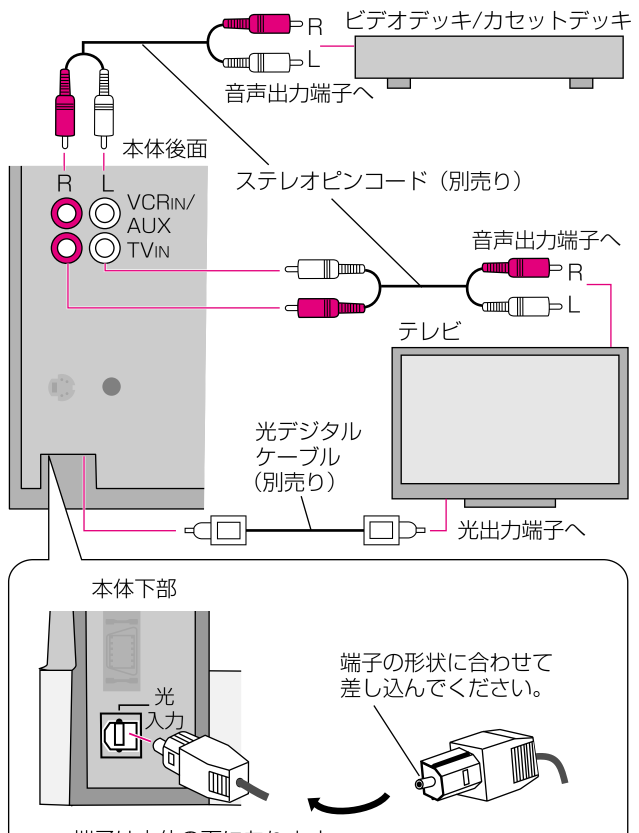
●S1映像入力端子に接続



ビデオなどの音声を楽しむ

●いろいろな音声を本機のスピーカーで楽しむ

光入力：BSやCSのデジタル放送の音声。
TVIN：テレビのアナログ音声。
VCRIN/AUX：ビデオデッキやカセットデッキの音声。

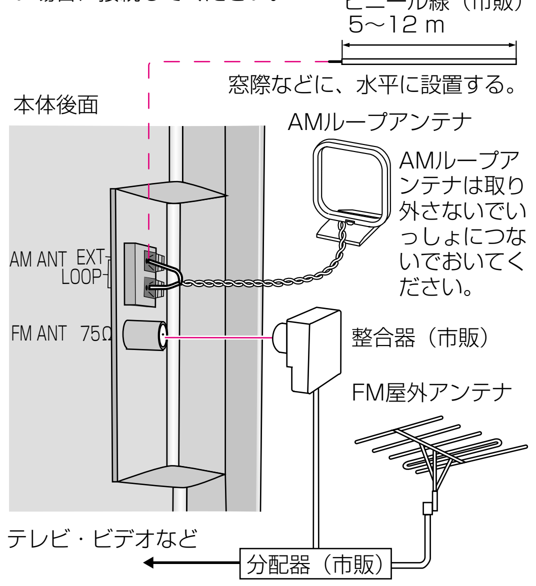


●D端子ケーブルと光デジタルケーブルをどちらも使用する場合、最初に光デジタルケーブルを接続し、次にD端子ケーブルを差し込んでください。

屋外アンテナと別売り品のご紹介

●屋外アンテナを接続

山間部や鉄筋ビルの中など電波の弱いところでは屋外アンテナの接続をおすすめします。電波を受信しにくい場合に接続してください。



別売り品のご紹介

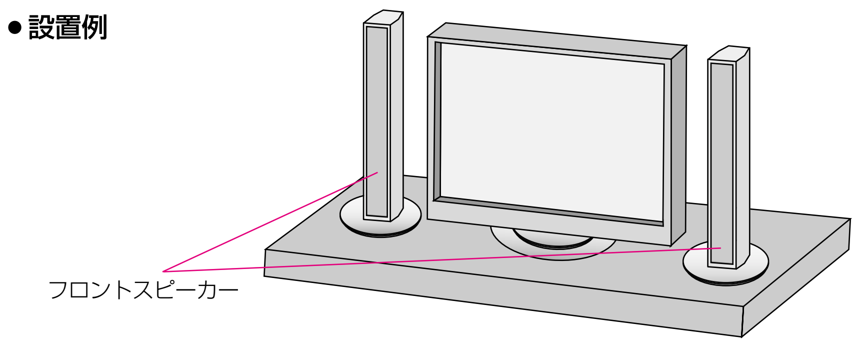
名　称	品　番
S端子コード	RP-CVS0G50 (5.0 m) など
D端子ケーブル	RP-CVDG30 (3.0 m) など
ステレオピンコード	RP-CAP3G50 (5.0 m) など
光デジタルケーブル	RP-CA2030A (3.0 m) など

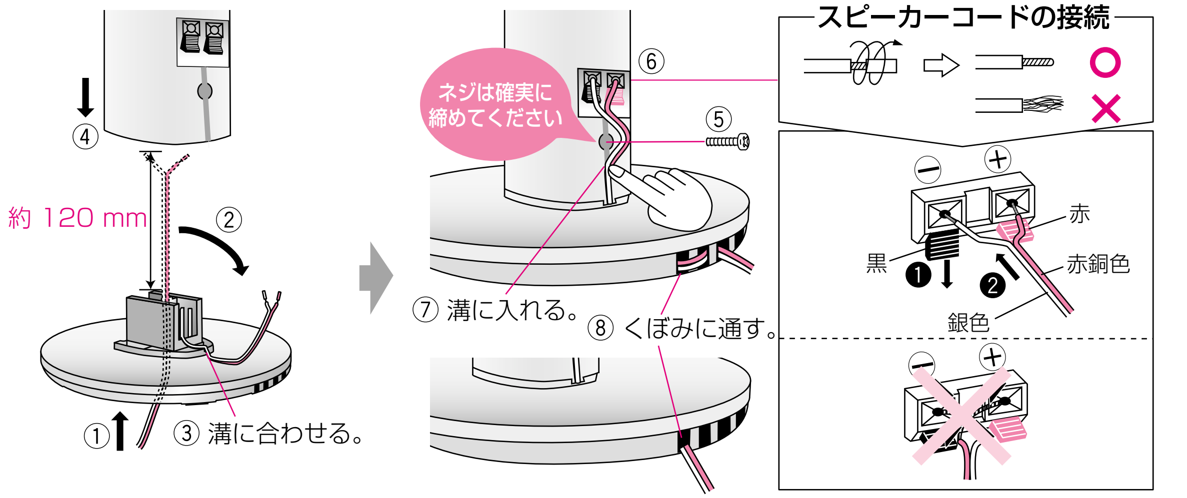
別売り品の品番は、2002年10月現在のものです。品番は変更されることがあります。

スピーカーには、こんな設置方法もあります

棚や台の上に設置するには（フロントスピーカーとサラウンドスピーカー）

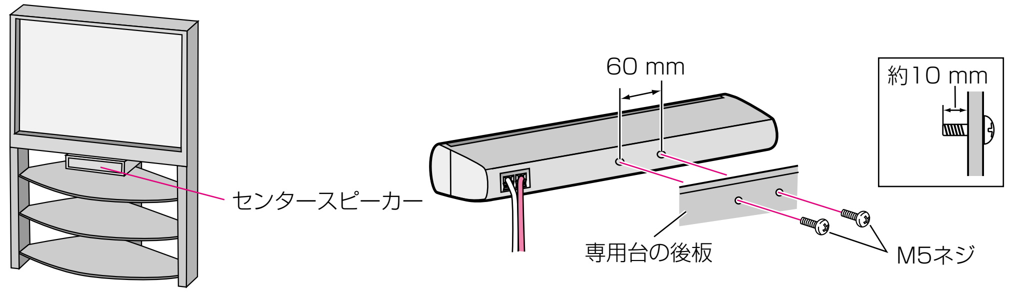
●設置例





うしろからネジ止め可能な専用台に取り付けるには（センタースピーカー）

●設置例



くわしい取り付け方法に関しては、専用台（別売り）の取扱説明書をご参照ください。

お知らせ

センタースピーカーの壁掛けは、推奨していません。
壁に取り付ける場合には、必ず住宅施工業者の方などにご相談のうえ、落下や壁の破損の無いように適切な処置を行ってください。（10 kg以上を支えられる壁の強度が必要です。）

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町１番４号

RQT6839-S
H1002TK0

Panasonic

設置接続編

DVDシステム
取扱説明書

品番　SC-ST1

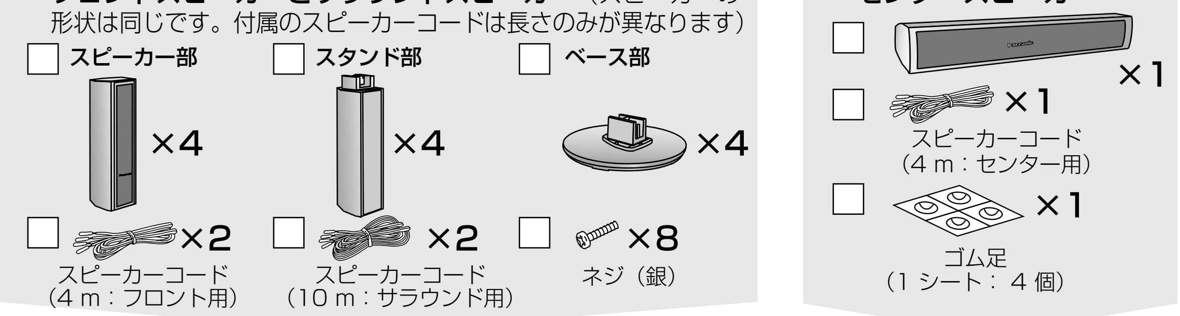
ステップ1　スピーカーの準備をしよう

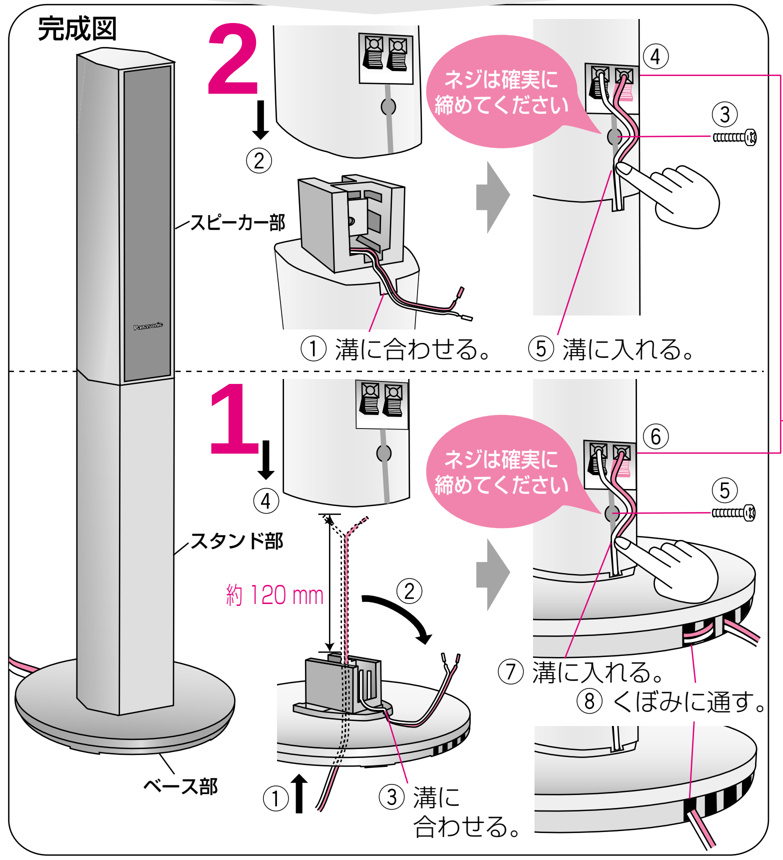
（➡ 裏表紙「スピーカーには、こんな設置方法もあります」もご参照ください。）

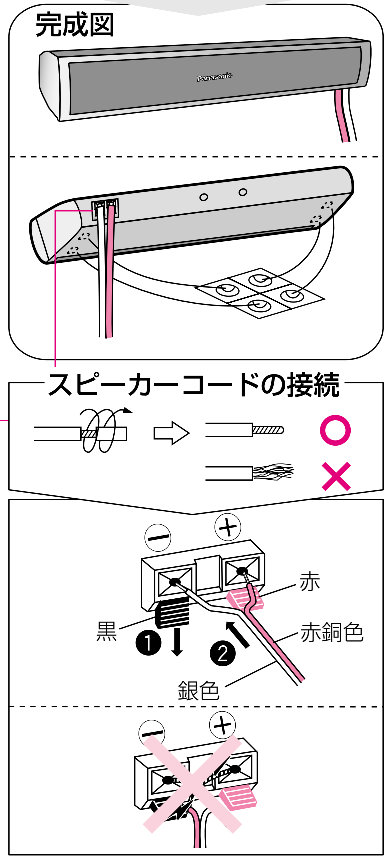
組み立て前に確認しよう !!（スピーカーコード、ネジおよびゴム足は本体包装箱に同梱）

●フロントスピーカーとサラウンドスピーカー（スピーカーの形状は同じです。付属のスピーカーコードは長さのみが異なります）

●センタースピーカー



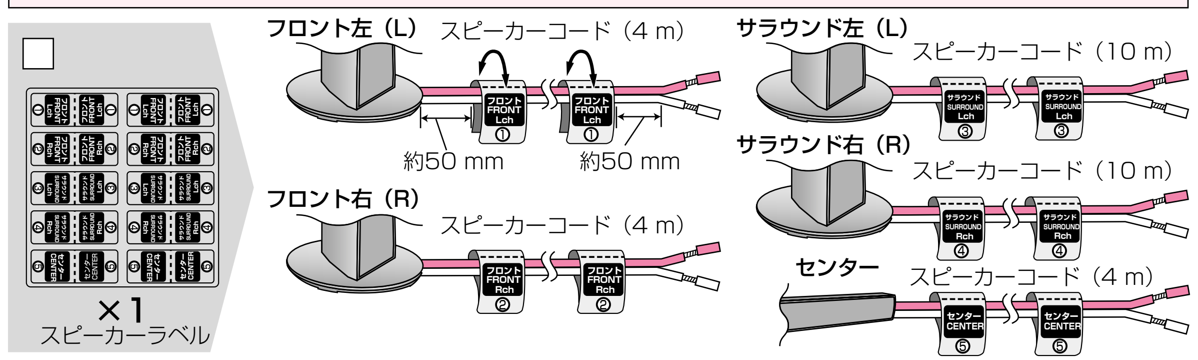




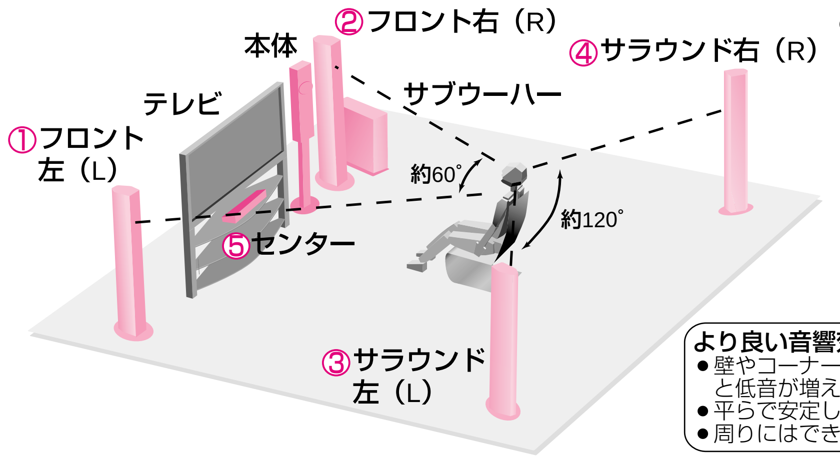
ステップ 2 設置しよう

付属品は本体包装箱に同梱しています。

スピーカーコードにスピーカーラベルを貼る



設置する



お知らせ

- サブウーハー以外の各スピーカーは、視聴位置から同じ距離に設置するのが理想です。なお、角度はあくまでも目安です。
- 本体およびサブウーハーと各スピーカーは放熱効果維持のため、1 cm以上離してください。
- スピーカーネットは取り外しができません。
- センタースピーカーを直接テレビの上に設置すると、振動によりテレビの画面が乱れることがあります。ラックや棚などに設置してください。

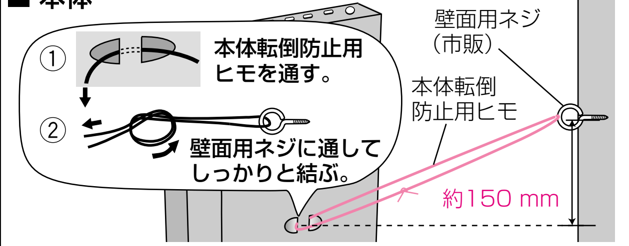
より良い音響効果を得るためには

- 壁やコーナーから10 cm以上離す。（近づけると低音が増えすぎる場合があります）
- 平らで安定した場所に置く。
- 周りにはできるだけ物を置かない。

転倒防止のために

□ ×1 本体転倒防止用ヒモ　□ ×4 クランパー取り付け用ネジ（黒）　□ ×4 スピーカー用クランパー

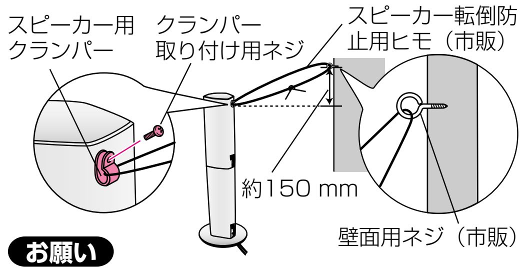
■ 本体



お願い

壁面用ネジは付属されておりませんので、柱や壁の材質に合ったネジを別途ご用意ください。

■ スピーカー（フロント、サラウンド）



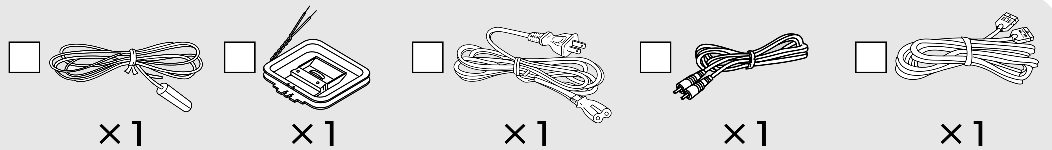
お願い

壁面用ネジとスピーカー転倒防止用ヒモは付属されておりませんので、別途ご用意ください。

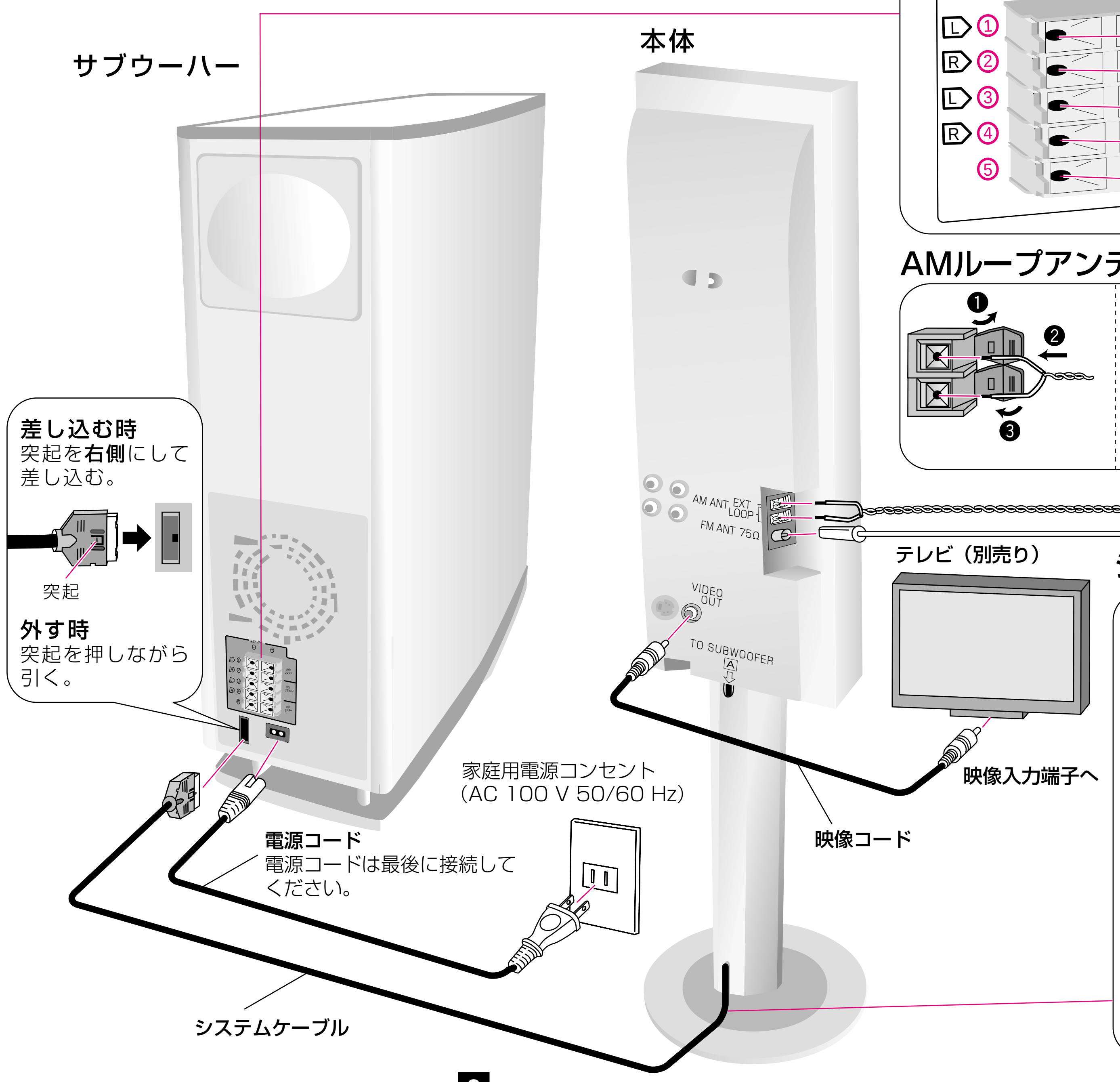
取り付け面が十分な強度を得られない場合やコンクリートの壁に取り付ける場合は、住宅施工業者の方などにご相談のうえ適切な処置を行ってください。
誤った取り付け方をすると転倒による傷害や壁の破損の原因になります。

ステップ 3 接続しよう

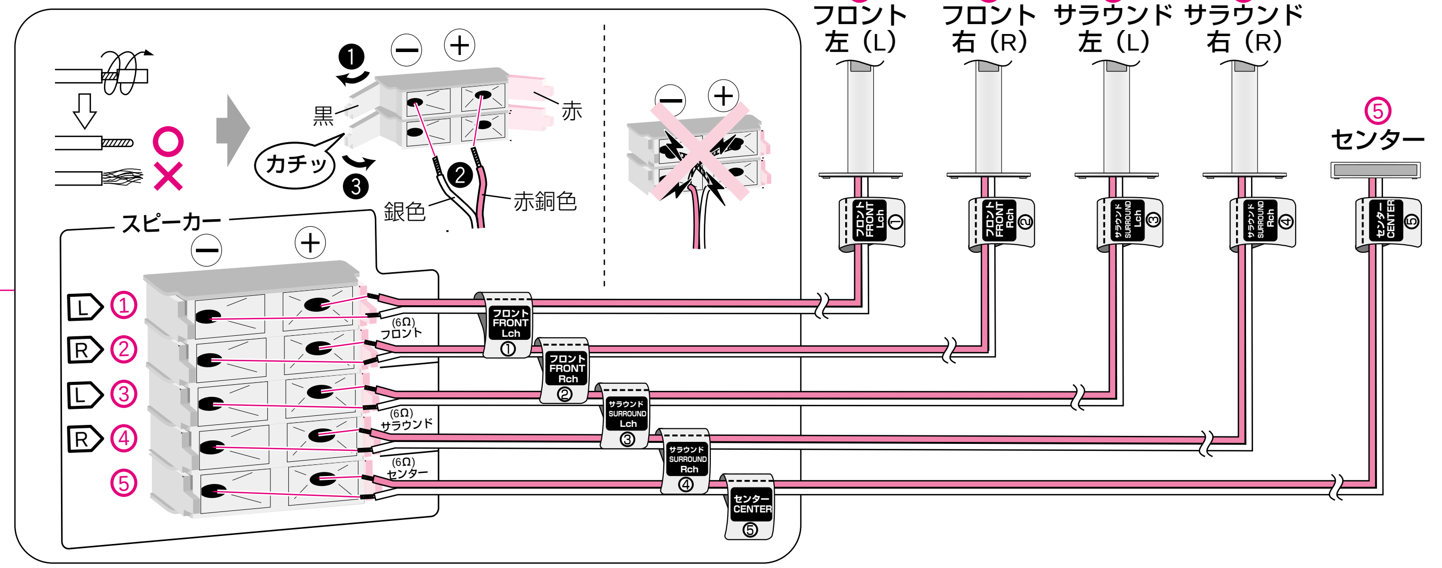
付属品は本体包装箱に同梱しています。



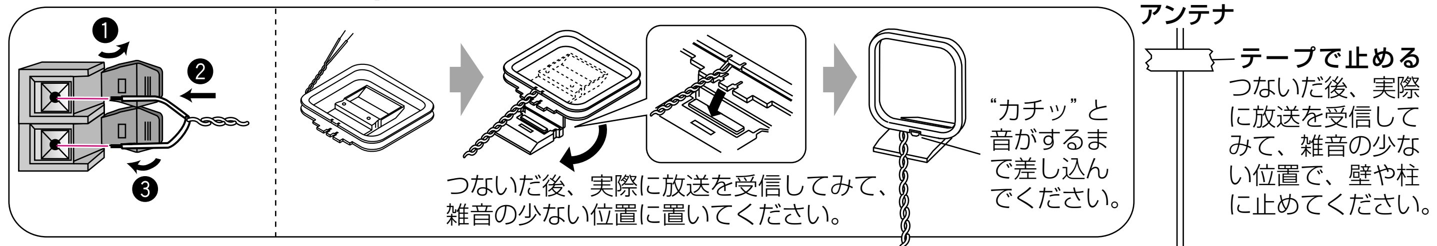
□ ×1 FM簡易型アンテナ　□ ×1 AMループアンテナ　□ ×1 電源コード　□ ×1 映像コード　□ ×1 システムケーブル



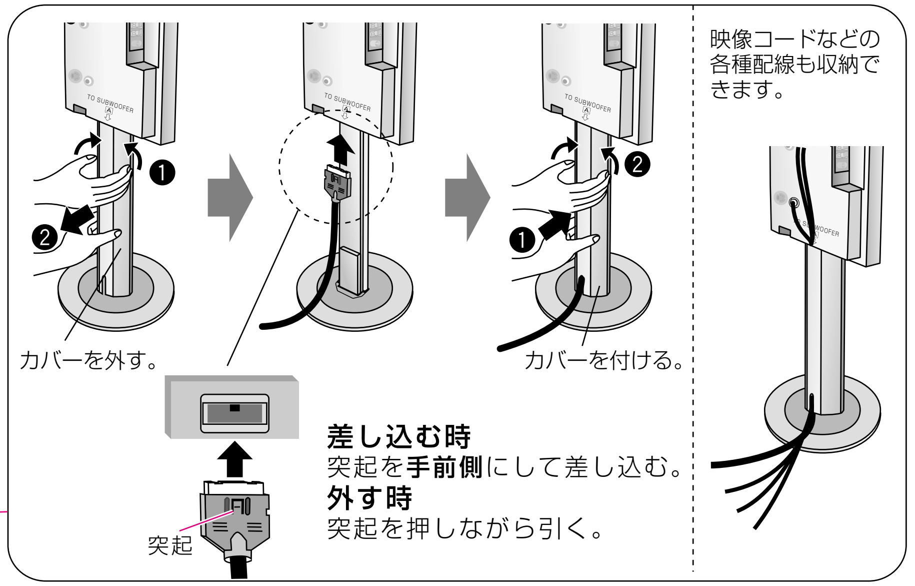
スピーカーの接続



AMループアンテナの接続



システムケーブルの接続



これで設置接続は完了です

よりよい映像やいろいろな音声を楽しむには
➡ **「システムアップ」次ページへ**

テレビの設定をするには
➡ **取扱説明書「操作編」11ページへ**

〔再生を楽しむには
➡ 取扱説明書「操作編」12ページへ〕